

令和5年度 おきなわ県民カレッジ 報告書



生涯学習推進センター(美ら島沖縄学講座)
「琉球国時代の病いと社会」



生涯学習推進センター(美ら島沖縄学講座)
「おもろさうしの世界」



生涯学習推進センター(美ら島沖縄学講座)
「沖縄の湧き水めぐり」～本島中部編～



生涯学習推進センター(美ら島沖縄学講座)
奨励賞授賞式



県立北部農林高校(学校開放講座)
「廃棄物を活用したSDGs的取り組み講座」



県立陽明高校(学校開放講座)
「いろいろな四角形の紙で鶴を折ろう」



はじめに

「おきなわ県民カレッジ」は、国、県、市町村、大学等で実施している生涯学習に関する講座等を体系化し、県民の皆様に学習機会を提供するとともに、学んだことを評価・活用するために運営しております。

今年度も、各市町村や高等教育機関、青少年教育施設等の協力を得ながら、主催講座及び連携講座の充実を図ることができました。

特に主催講座においては、美ら島沖縄学講座として文化講座「おもろさうしの世界」、歴史講座「琉球国時代の病いと社会」等を開催いたしました。また、遠隔講義配信システムを活用して5講座のライブ配信を行い、全11講座を実施することができました。

広域学習サービス講座では、国頭・中頭・那覇・島尻・宮古・八重山の各教育事務所において、地域のニーズに対応した全29講座を実施、学校開放講座では、北部農林高等学校、陽明高等学校で全3講座を実施し、生涯学習の推進に取り組んでまいりました。

また、「国立劇場おきなわ」「琉球大学附属図書館」の社会教育施設及び専門職員と連携した講座を実施したことで、受講者の皆様に好評を得ることができました。今後とも、これまでの成果や課題を踏まえ、「おきなわ県民カレッジ」の一層の充実を図り、県民へ生涯学習機会を効果的に提供してまいりたいと考えております。

おわりに、本事業の実施に当たり、御協力くださいました関係機関、市町村教育委員会及び関係者各位に対し、心から感謝申し上げます。

令和6年3月

沖縄県教育庁生涯学習振興課長 米須 薫子

目 次

1	おきなわ県民カレッジ事業について	
(1)	主催講座数	1
(2)	連携講座数	1
(3)	入学者数	1
(4)	おきなわ県民カレッジ奨励賞受賞者数一覧	1
(5)	おきなわ県民カレッジ市町村別入学者数	2
2	主催講座の実施報告	
(1)	令和5年度おきなわ県民カレッジ主催講座一覧	3
(2)	美ら島沖縄学講座	
第1回	組踊への誘い	4
第2回	おもしろさうしの世界	5
第3回	琉球国時代の病いと社会	6
第4回	しまくとぅばを未来へ	7
第5回	古文書の読み方	8
第6回	泡盛の魅力・香りを探る～上級編～	9
第7回	沖縄観光の現状と今後について	10
第8回	琉球紅型の魅力を世界へ発信	11
第9回	沖縄の古文書を知る	12
第10回	沖縄の湧き水めぐり～本島中部編～	13
第11回	トートメーの歴史～タブーはなぜ生まれた～	14
(3)	広域学習サービス講座(教育事務所名)	
(国頭)	やんばらの地で学ぶ！ひろがる！豊かな暮らし！	15
(中頭)	「Be yourself でつながる学びの輪」	19
(那覇)	沖縄の文化・自然を楽しもう	25
(島尻)	「島尻はひとつ」魅力ある地域の再発見	29
(宮古)	みんなにとって住み続けられる街づくりをめざして	34
(八重山)	八重山の「自然・文化」に学ぶ	38
(4)	学校開放講座(学校名)	
(北部農林高等学校)	廃棄物を活用したSDGs的取り組み講座 コーヒーグランスを活用した消臭除湿剤作り体験	43
(北部農林高等学校)	廃棄物を活用したSDGs的取り組み講座 コーヒーグランス廃棄豆を活用したキャンドル作り体験	44
(陽明高等学校)	いろいろな四角形の紙で鶴を折ろう	45
3	主催講座受講生アンケートより	
(1)	主催講座受講生の状況	46
(2)	講座を受けた動機	49
(3)	今後学習したいこと	52
4	おきなわ県民カレッジ機関別連携講座数	54
5	おきなわ県民カレッジ開設要綱等	55

1 おきなわ県民カレッジ事業について

(1) 主催講座数(沖縄県教育委員会が企画・運営する講座)

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
美ら島沖縄学講座	6	5	11	11	10	9	9	11	11	11	12	10	11	11	11
受講者数(人)	472	250	510	393	329	320	503	581	888	1,084	861	542	404	410	651
広域学習サービス講座	6	6	6	6	6	6	7	25	25	25	25	22	25	25	29
受講者数(人)	234	182	224	257	330	540	810	626	585	504	540	390	447	517	602
学校開放講座	5	4	1	3	1	1	-	-	1	1	6	-	-	-	3
受講者数(人)	135	65	88	211	232	123	-	-	12	310	278	-	-	-	29
講座数の合計	17	15	18	20	17	16	16	36	37	37	43	32	36	36	43
受講者数の合計(人)	841	497	822	861	891	983	1,313	1,207	1,485	1,898	1,679	932	851	927	1,282

(2) 連携講座数

	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
国・県関係機関	176	228	206	186	303	235	243	153	135	170	346	226	218	246	227
市町村関係機関	211	152	228	250	255	170	224	206	241	281	270	242	227	314	320
高等教育機関	233	217	253	358	231	204	109	114	122	279	197	22	133	127	157
各種教育関係機関	659	557	321	465	322	391	675	770	780	885	1,172	981	841	668	1,148
合計	1,279	1,154	1,008	1,259	1,111	1,000	1,251	1,243	1,278	1,615	1,985	1,471	1,419	1,355	1,852

(参考)おきなわ県民カレッジの講座種類

主催講座	美ら島沖縄学講座	生涯学習推進センターが企画・運営している講座。沖縄学をテーマに実施する講座
	広域学習サービス講座	各教育事務所が企画・運営している講座。地域に根ざしたテーマで実施する講座
	学校開放講座	県立学校等施設を開放して、各学校の施設や人材を生かして実施する講座
連携講座	国や県関係機関、市町村教育委員会、大学、公民館、図書館等が実施する講座で、おきなわ県民カレッジ連携講座として認定された講座	

(3) 入学者数

	H17~20	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	合計
男性	659	157	108	159	171	131	124	109	112	139	122	382	151	190	287	275	7,223
女性	1,581	258	209	226	298	209	169	293	223	266	215						
合計	2,240	415	317	385	469	340	293	402	335	405	337	382	151	190	287	275	

(4) おきなわ県民カレッジ奨励賞受賞者数一覧

	H18~20	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	合計
筑登之賞 (100単位)	23	5	10	40	18	17	24	41	16	3	28	26	28	2	1	7	289
里之子賞 (200単位)	9	8	5	2	2	14	21	11	8	3	4	8	3	1	1	1	101
親雲上賞 (300単位)	1	8	4	-	5	1	8	7	3	2	3	6	2	-	2	-	52
親方賞 (400単位)	-	2	6	2	2	-	8	7	5	2	2	5	2	-	1	1	45
学長賞 (500単位)	-	-	1	2	2	3	-	6	9	6	6	2	3	-	-	1	41
合計	33	23	26	46	29	35	61	72	41	16	43	47	38	3	5	10	528

(5)おきなわ県民カレッジ市町村別入学者数

	H20まで累計	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年	累計
1	国頭村	34	3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	38
2	大宜味村	7	-	1	-	-	-	3	-	-	-	4	2	-	1	7	25
3	東村	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6
4	今帰仁村	6	1	-	1	-	1	1	-	1	-	1	-	4	3	2	21
5	本部町	18	4	-	8	1	-	7	14	15	3	-	3	17	-	8	100
6	名護市	63	3	1	16	14	2	16	21	4	8	29	33	10	15	19	263
7	宜野座村	1	-	-	-	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	3	8
8	金武町	4	-	-	-	3	1	3	2	1	1	-	-	1	-	1	17
9	伊江村	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	3
10	伊平屋村	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2
11	伊是名村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
12	恩納村	4	-	-	-	-	1	-	2	2	1	-	-	1	-	-	11
13	うるま市	142	5	2	4	6	3	4	4	14	10	9	8	3	-	5	224
14	読谷村	10	2	3	1	2	2	2	2	3	8	1	1	-	2	-	40
15	嘉手納町	11	-	-	1	-	1	-	1	-	4	-	-	-	-	2	20
16	沖縄市	71	11	14	24	11	6	2	14	6	11	19	9	8	15	12	241
17	北谷町	20	3	4	-	5	7	8	9	7	13	10	7	2	-	2	101
18	宜野湾市	88	43	17	47	17	25	17	19	15	27	22	24	3	5	12	393
19	北中城村	17	4	1	3	1	-	5	4	3	12	2	3	-	1	2	60
20	中城村	14	5	1	5	1	1	-	5	4	6	3	3	3	-	3	56
21	西原町	60	19	16	18	13	10	13	13	9	7	14	9	4	2	13	225
22	浦添市	135	33	20	23	24	26	22	34	23	42	27	32	16	14	11	512
23	那覇市	899	138	111	111	222	151	104	145	113	119	93	105	34	33	77	2,522
24	久米島町	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	4
25	南大東村	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
26	北大東村	12	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	13
27	豊見城市	64	17	34	17	22	30	18	24	27	23	14	27	3	2	5	336
28	糸満市	71	11	8	6	7	27	21	16	8	11	13	31	5	2	11	256
29	八重瀬町	47	34	4	9	8	2	8	7	4	8	9	8	1	7	8	170
30	南城市	51	7	6	10	28	5	10	13	8	11	10	3	3	6	8	184
31	与那原町	26	3	4	24	3	7	2	4	8	11	8	3	-	2	2	110
32	南風原町	66	7	7	11	15	12	15	9	11	15	12	15	3	4	9	219
33	渡嘉敷村	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	5
34	座間味村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	栗国村	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	5
36	渡名喜村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	宮古島市	124	29	24	17	28	18	11	38	33	13	17	7	10	13	3	418
38	多良間村	20	-	-	-	-	-	-	-	-	7	5	19	1	-	1	54
39	石垣市	126	30	37	29	36	-	-	1	14	25	14	23	22	60	63	528
40	竹富町	18	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	1	2	-	25
41	与那国町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2,240	415	317	385	469	340	293	402	335	405	337	382	151	190	287	7,223

2 主催講座の実施報告

(1) 令和5年度おきなわ県民カレッジ主催講座一覧

	講座名	開催場所	開催日	ライブ配信	開催地	受講者数	
美ら島沖縄学講座	1 組踊への誘い「孝行の巻」	・国立劇場おきなわ	5月13日(土)		浦添市	41人	
	2 おもろさうしの世界	・生涯学習推進センター ・サテライト会場：各教育事務所 ・特別サテライト会場 玉城青少年の家、多良間村	6月21日(水)	○	那覇市	107人	
	3 琉球国時代の病いと社会	・生涯学習推進センター	7月19日(水)		那覇市	70人	
	4 しまくとぅばを未来へ	・生涯学習推進センター ・サテライト会場：各教育事務所 ・特別サテライト会場 玉城青少年の家、多良間村	8月16日(水)	○	那覇市	68人	
	5 古文書の読み方	・生涯学習推進センター ・サテライト会場：各教育事務所 ・特別サテライト会場 多良間村	9月1日(金)	○	那覇市	66人	
	6 泡盛の魅力・香りを探る -上級編-	・沖縄県立図書館	9月23日(土)		那覇市	66人	
	7 沖縄観光の現状と今後について	・生涯学習推進センター ・サテライト会場：各教育事務所 ・特別サテライト会場 多良間村	10月11日(水)	○	那覇市	55人	
	8 琉球紅型の魅力を世界へ発信	・沖縄県立図書館	11月1日(水)		那覇市	43人	
	9 沖縄の古文書を知る	・生涯学習推進センター ・サテライト会場：各教育事務所 ・特別サテライト会場 多良間村	11月22日(水)	○	那覇市	47人	
	10 沖縄の湧き水めぐり -本島中部編-	・萩堂大城湧水群(フィールドワーク)	12月9日(土)		北中城村	20人	
	11 トートローマーの歴史 タブーはなぜ生まれた	・生涯学習推進センター	1月16日(火)		那覇市	68人	
美ら島沖縄学講座 計						651人	
広域学習サービス講座	国頭	【国頭教育事務所】 やんばるの地で学ぶ！ひろがる！豊かな暮らし！	・北部合同庁舎 ・今帰仁村立天底小学校家庭科室 ・名護市役所 羽地支所 ・宜野座村多目的スポーツ施設	①9月30日(土) ②10月28日(土) ③11月18日(土) ④12月9日(土)	全4回	名護市 今帰仁村 名護市 宜野座村	70人
	中頭	【中頭教育事務所】 「Be yourselfでつながる学びの輪」	・シアタードーナツ ・中頭教育事務所(6回)	①6月22日(木) ②7月20日(木) ③④8月8日(火) ⑤9月30日(土) ⑥10月14日(土) ⑦11月25日(土)	全7回	沖縄市	131人
	那覇	【那覇教育事務所】 沖縄の自然・文化を楽しもう	・国頭村楚洲伊江川 ・沖縄県立博物館・美術館 ・沖縄県総合運動公園(2回)	①7月1日(土) ②8月10日(木) ③10月8日(日) ④11月11日(土)	全4回	国頭村 那覇市 沖縄市	92人
	島尻	【島尻教育事務所】 「島尻はひとつ」 魅力ある地域の再発見	・与那原大綱曳資料館 ・与那原町内瓦工場、与那原町コミュニティセンター ・島尻教育事務所 ・沖縄女子短期大学 ・豊見城市中央公民館 ・軽便与那原駅舎・展示資料館、与那原町コミュニティセンター	①8月26日(土) ②9月28日(木) ③10月12日(木) ④11月8日(水) ⑤12月6日(水)	全5回	与那原町 八重瀬町	138人
	宮古	【宮古教育事務所】 みんなにとって住み続けられる街づくりをめざして	・宮古教育事務所(4回)	①7月30日(日) ②8月5日(土) ③8月20日(日) ④2月18日(日)	全4回	宮古島市	78人
	八重山	【八重山教育事務所】 八重山の「自然・文化」に学ぶ	・石垣青少年の家(3回) ・石垣市立崎枝小中学校	①8月12日(土) ②8月13日(日) ③10月14日(土) ④10月15日(日) ⑤11月4日(土)	全5回	石垣市	93人
広域学習サービス講座 計						602人	
学校開放講座	1	【廃棄物を活用したSDGs的取り組み講座】 コーヒークラップを活用した消臭除湿剤作り体験	・県立北部農林高校 熱帯農業科棟	10月15日(金)	全1回	名護市	10人
	2	【廃棄物を活用したSDGs的取り組み講座】 コーヒークラップ 廃棄豆を活用したキャンドル作り体験		10月29日(金)	全1回	名護市	9人
	3	いろいろな四角形の紙で鶴を折ろう	・沖縄県立陽明高等学校	12月9日(土)	全1回	浦添市	10人
学校開放講座 計						29人	
合計				43講座	合計		1,282人

(2) 美ら島沖繩学講座

第1回 美ら島沖繩学講座

教育庁生涯学習振興課(生涯学習推進センター)

組踊への誘い^{いざな}

1 講座の内容

組踊は、せりふ、音楽、所作、舞踊によって構成される歌舞劇であり、琉球を訪れる中国皇帝の使者、冊封使一行を歓待する為に創作された琉球独自の芸能である。現在では国指定重要無形文化財、世界ユネスコ無形文化遺産一覧に記載される等、我が国の誇れる舞台芸術のひとつとなっている。

本講座では、組踊誕生の歴史的背景や、独自の演技様式・表現方法などを紹介し、講座終了後は、親を想う子の気持ちを描いた名作「孝行の巻」を鑑賞する。

2 講座の概要

- (1) 講師 茂木 仁史 氏 (国立劇場おきなわ 企画制作課 調査専門嘱託員)
- (2) 日時 令和5年5月13日(土曜日) 午後12時30分から午後4時まで
- (3) 場所 国立劇場おきなわ
- (4) 受講者数 41名
- (5) 共催 公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団
- (6) プログラム
 - ・開会の挨拶
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会の挨拶
 - ・鑑賞「孝行の巻」



3 成果

- ・「国立劇場おきなわ」の御協力により、恒例となった「組踊への誘い」講座を実施できた。
- ・講師、講話内容ともに適切でわかりやすく、理解が深まったと好評であった。
- ・組踊の歴史や当時の歴史背景や当日の演目「孝行の巻」について鑑賞のポイント等を詳しく説明されたので、学びになった、面白かったという受講者の感想が寄せられた。
- ・実際に組踊も鑑賞でき、楽しく勉強できたと、総じて好評だった。

4 課題

- ・5月中旬の開催となり、準備期間が短かった。
- ・講師への講座撮影の説明と許諾書をとる時期の検討(前年度末までが望ましい)

おもろさうしの世界

1 講座の内容

おもろとは神と人をつなぐ「祈りの歌」。グスク時代から王国時代にいたる古琉球社会において、祭祀・儀礼の場で生まれ、うたい継がれてきた歌謡である。首里王府でおもろを編集し、書物としたものがおもろさうしである。第1巻は1531年に成立し、全22巻より成る。

口承文芸と琉球文学との関係や、具体的なおもろを読み解きながら、おもろさうしの世界を考察する。

2 講座の概要

- (1) 講師 波照間 永吉 氏 (名桜大学大学院特任教授)
- (2) 日時 令和5年6月21日(水曜日) 午後2時から午後4時まで
- (3) 場所 南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場：各教育事務所(国頭・中頭・島尻・宮古・八重山)
※特別サテライト会場：玉城青少年の家・多良間村
- (4) 受講者数 107名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・80名定員で予約枠がすべて埋まった。
- ・おもろさうしは独学では読みづらいため、講師の専門的な説明が助けとなった。
- ・沖縄の古典として、歴史理解の一助になった。
- ・おもろさうしについて初歩的な知識が得られた。

4 課題

- ・80人規模での開催だったので後ろからだスクリーンやホワイトボードの文字が見えにくく、立ってみている方も見受けられた。壁への投影だと壁尾線が気になる、マーカーを黒にしてほしいや机の設置希望が寄せられた。
- ・終了予定時間を超えてしまい、途中で帰られる方が数名いた。

琉球国時代の病いと社会

1 講座の内容

いつの時代にも存在し、集団発生で社会的・経済的・文化的に大きな影響を与える疫病。かつて琉球国時代にも、風疹、コレラ、天然痘などが流行っていた。当時は、疫病に対してどのような対策がとられたのか。現代のインフルエンザや新型コロナウイルス対策と比較しながら、琉球国時代の疫病蔓延の様子やその対策を学ぶ。

2 講座の概要

- (1) 講師 豊見山 和行 氏 (琉球大学名誉教授・琉球大学客員研究員)
- (2) 日時 令和5年7月19日(水曜日) 午後2時から午後4時まで
- (3) 場所 南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
- (4) 受講者数 70名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・疫病が蔓延する経緯、様相対策の推移など、長期的観察・検証をもとにした歴史的アプローチを試みながら、感染症(伝染病)への関心・問題意識が深められた。
- ・前回の改善として机の設置、スクリーンへの投影は好評だった。

4 課題

- ・遠方から来る方から、ライブ配信(サテライト会場)してほしいとの希望があった。

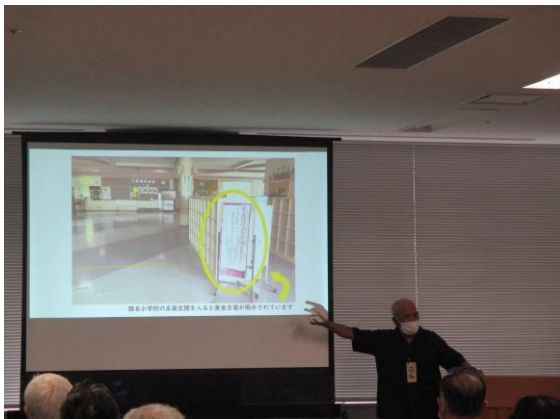
しまくとぅばを未来へ

1 講座の内容

消滅の危機にある「しまくとぅば」をどのようにしたら良い形で、保存・継承することができるか。しまくとぅばから見える郷土文化の意義や大切さを考え、次世代への継承の取り組みについて知る。

2 講座の概要

- (1) 講師 久高 将一 氏 (繁多川公民館しまくとぅば会会長)
安元 悠子 氏 (琉球大学大学院ポスドク研究員)
- (2) 日時 令和5年8月16日(水曜日) 午後2時から午後4時まで
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場：各教育事務所(国頭・中頭・島尻・宮古・八重山)
※特別サテライト会場：玉城青少年の家・多良間村
- (4) 受講者数 68名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・海外の似たような境遇にある地域を例に出すことでより興味関心を引き出すことができた。
- ・日常生活でなじみのある方言をテーマにしているなのでそれぞれの地域の方言をもっと勉強したいと言う声が多かった。

4 課題

- ・レジュメ・スクリーンの文字が小さく後ろの方から見えにくかった。

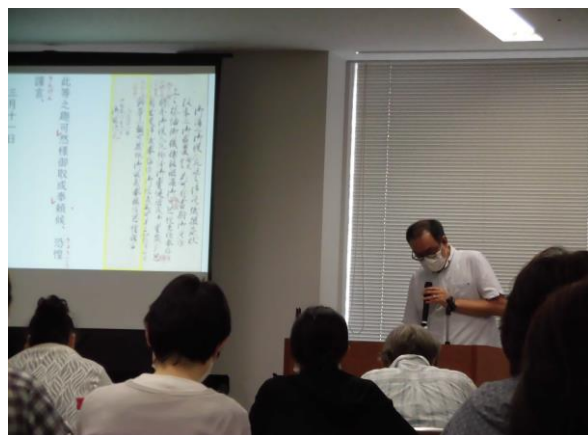
古文書の読み方

1 講座の内容

琉球の歴史や社会が垣間見える古文書。この講座では琉球王国時代に国内で作成された古文書を取り上げ、その社会的な展開と特徴について解説。実際に古文書を数点読み、文章の読み方や文意の取り方を学ぶ。古文書はいわゆる「くずし字」で書かれており、読解は難しいが、比較的読みやすい古文書を教材とする。初めて学ぶ方でも古文書に親しみが持てるような内容で、昨年度の講座とは異なる史料を使用する。

2 講座の概要

- (1) 講師 麻生 伸一 氏 (琉球大学教授)
- (2) 日時 令和5年9月1日(金曜日) 午後2時から午後4時まで
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場：各教育事務所(国頭・中頭・島尻・宮古・八重山)
※特別サテライト会場:多良間村
- (4) 受講者数 66名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
- ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・実際の古文書を使いながら進めていくスタイルは従来通りで、わかりやすかった。
- ・古文書を読んで歴史的背景まで読み取れる事が良かった。
- ・実際に声に出して読むことで理解が深まった。

4 課題

- ・初心者には進め方がやや早いという意見もあった。

泡盛の魅力・香りを探る ～上級編～

1 講座の内容

600年の歴史があるといわれる泡盛。「仕次ぎ」という独特の技法は沖縄の文化のひとつ。今回の上級編では、古酒の風味を保ち熟成度高める「仕次ぎ」と古酒の香気と甕の特性を学ぶ。古酒を上手に育てていくための秘訣、泡盛と甕の相性をわかりやすく探っていく。古酒を中心にした食文化にもふれて泡盛とのマリアージュ、楽しみ方について紹介する。

2 講座の概要

- (1) 講師 照屋 充子 氏 (沖縄県知事認証泡盛マイスター・琉球大学非常勤講師)
- (2) 日時 令和5年9月23日(土曜日) 午後2時から午後4時まで
- (3) 場所 沖縄県立図書館3階ホール
- (4) 受講者数 66名
- (5) 共催 沖縄県酒造組合
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・泡盛の歴史、古酒の上手な育て方、甕の特性、香気の特徴、相性のよい料理まで広く分かりやすく説明していただいた。
- ・沖縄県酒造組合との共催により、3種類の泡盛を受講者が自宅で直接比較できるよう、サンプルを提供することができた。

4 課題

- ・初級編、中級編に参加できなかった方のため振り返りも入り、少し進めるスピードが早いという意見があった。
- ・沖縄県立図書館は飲食禁止のため、講義と併行してその場で泡盛のテイスティングができない。

沖縄観光の現状と今後について

1 講座の内容

一時、1000万人台の観光入域者数を超えるまでに成長した「沖縄観光」。その後、コロナ渦によって大きな変化があり、今新たな試練に立ち向かおうとしている。コロナ前まで成長を遂げた沖縄観光の背景や、コロナ渦での試み、そして未来の沖縄観光の再構築に向けて再起動する現状や、今後の潜在能力について解説し、意見交換も交えながら、気づき・学びの場を提供する。

2 講座の概要

- (1) 講師 金城 孝 氏 (一般財団法人 沖縄コンベンションビューロー国内事業部長)
- (2) 日時 令和5年10月11日(水曜日) 午後2時から午後4時まで
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
サテライト会場：各教育事務所(国頭・中頭・島尻・宮古・八重山)
※特別サテライト会場:多良間村
- (4) 受講者数 55人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・コロナ前の沖縄観光が右肩上がり成長していたことが分かった。
- ・新たな観光への動きが見え、今ある課題をどう改善していくべきか、サテライトからも質問が多く寄せられ活況を呈した。

4 課題

- ・レジュメの文字が小さいやスライドの文字が小さい、色が薄い等の指摘があった。
- ・サテライト会場より講師が不鮮明に写っていると指摘があった。

りゅうきゅう びん がた みりょく せかい はっしん
琉球紅型の魅力を世界へ発信

1 講座の内容

沖縄の500年の伝統工芸「琉球紅型」伝統を守りながら新しさをプラス！着物や帯など高価なイメージの強い伝統的な紅型を「暮らしの中に紅型を」をテーマに日々の暮らしの中で身近に感じていただけるようなアイテム・デザインとして制作・発信している。紅型を次世代へ繋げ世界へ発信していくための取組を紹介する。

2 講座の概要

- (1)講師 山城 信吾 氏 (城紅型染工房 店長)
- (2)日時 令和5年11月1日(水曜日) 午後2時から午後4時まで
- (3)場所 沖縄県立図書館3階ホール
- (4)受講者数 43名
- (5)共催 なし
- (6)プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・高価なイメージの琉球紅型が身近にあることを知ることができた。
- ・写真や実物を多数用意したことでわかりやすく魅力を提供できた。
- ・会場を図書館にしたことで図書館利用者が興味を示し、覗きに來ていた。

4 課題

- ・会場のカーテンを開けてほしいと意見があった。

おきなわ こもんじょ し
沖縄の古文書を知る

1 講座の内容

琉大図書館が所蔵する古文書をテキストに、同館の所蔵資料の概要と沖縄に関する古文書をデジタルで調べる方法を紹介する。

2 講座の概要

- (1) 講師 富田 千夏 氏 (琉球大学附属図書館情報サービス課保存公開係長)
- (2) 日時 令和5年11月22日(水曜日) 午後2時から午後4時まで
- (3) 場所 本会場：南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
 サテライト会場：各教育事務所(国頭・中頭・島尻・宮古・八重山)
 ※特別サテライト会場:多良間村
- (4) 受講者数 47名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・琉大図書館の利用方法、デジタル検索の仕方がわかりやすかった。
- ・普段見ることのできない資料を見ることができた。

4 課題

- ・もう少し古文書の内容に触れてほしいとの意見があった。
- ・講師や司会の声が少し聞こえにくいとの意見があった。

沖縄の湧き水巡り ～本島中部編～

1 講座の内容

国指定の重要文化財中村家住宅の周りにある荻堂大城湧き水群を散策しながら我々の命の源である「水」について学んでいく。日本の歩きたくなる道500選に選ばれた道のり約1.2kmを歩く。

2 .

- (1) 講師 ぐし ともこ 氏 (湧き水fan倶楽部代表)
- (2) 日時 令和5年12月9日(土曜日) 午前10時から正午まで
- (3) 観察場所 荻堂大城湧水群 (北中城村)
- (4) 受講者数 20名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム ・開会のあいさつ
 ・講師紹介
 ・講話
 ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・受付開始後数分で定員に達した大人気講座である。
- ・ペースもゆっくりで途中で休憩をはさみ、時間内に予定コースを回ることができた。
- ・時間に余裕があったため急遽もう一ヶ所追加で見ることができた。
- ・前回雨天中止になった為、今回は天気にも恵まれ実施できたことが嬉しいとの声が多かった。

4 課題

- ・定員に達して申し込みできなかった人が当日集合場所に来ていた。
- ・受付開始日、電話がなっているのに繋がらないという声があった。

トートーメーの歴史～タブーはなぜ生まれた～

1 講座の内容

沖縄では、先祖を祀る「トートーメー（位牌）継承」をめぐるいくつかのタブーがあります。そもそもトートーメーとは何か、タブーをおかすと祟りがあるという言い伝えはいつ生まれたのかなど、ジェンダーの視点からトートーメーの歴史についてお話します。

2 講座の概要

- (1) 講師 宮城 晴美 氏（沖縄女性史研究家）
- (2) 日時 令和6年1月16日(火曜日) 午後2時から午後4時まで
- (3) 場所 南部合同庁舎4階 生涯学習推進センター会議室
- (4) 受講者数 68名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開会のあいさつ
 - ・講師紹介
 - ・講話
 - ・閉会のあいさつ



3 成果

- ・トートーメーの歴史について、琉球国時代から現代まで分かりやすく説明していただいた。
- ・門中制度と明治民法から沖縄の独自文化が始まったことや新民法移行後も家族意識・法事が変わらないことなどが、沖縄の位牌継承に係るタブーが生まれた原因となっていることから、その問題提起と今後の課題について明示された。
- ・参加者の満足度が総じて高かった。

4 課題

- ・南部合同庁舎会議室定員の80名の予約が、約3時間で埋まった。関心が高いトピックであり、関連した講座を開設する際は、広い会場(県立図書館ホール等)で企画する。
- ・予約なしで当日来所する受講希望者への対応。

(3) 広域学習サービス講座

第1回 広域学習サービス講座

国頭教育事務所

～しまくとうばを未来へ 第3弾～ ようこそ琉歌の世界へ

1 講座の内容

沖縄の風土で生まれた魅力がたくさん詰まっている「しまくとうば」。「しまくとうばを未来へ」講座は、一昨年度から連続講座として開催している。今回の講座は、琉歌を通して学ぶ。自分の伝えたい思いをしまくとうばを通して表現するための入門講座。沖縄語として五十音の発音、かんたんな挨拶、琉球愛唱歌、琉歌の基本形式に触れ、その奥深さや魅力を感じ、日常生活の中でいかすきっかけづくりとする。

2 講座の概要

- (1) 講師 上原 仁吉 氏 (琉歌伊集の会)
- (2) 日時 令和5年9月30日(土曜日) 午前9時30分から午前11時30分まで
- (3) 場所 北部合同庁舎 2階大会議室
- (4) 受講者数 19人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開校式
 - ・講師紹介
 - ・講義「ようこそ琉歌の世界へ」
 - ・ふり返り・アンケート記入



3 成果

- ・沖縄語の五十音や言葉の特徴、歴史と言葉の変化などわかりやすく学びやすい講座となっていて、琉歌が初心者の方でも楽しく学べる講座となっていた。
- ・わかりやすい解説や歌、踊りもあり、うちな一口の奥深さや面白さについて感じる事ができた。琉歌カルタを活用し、歌を読んだり、歌詞の意味や思いを感じながら慣れ親しむことができた。改めて琉歌のすばらしさを感じることができたという声が多数あった。
- ・一昨年度から、連続して受講する方もいて、今後も学び続けたいという声があった。

4 課題

- ・当日キャンセルや、当日参加の対応

本格的な琉球料理を学ぼう！味わおう！

1 講座の内容

いにしへの人々によって伝承されてきた琉球料理を、日常生活や行事の際に、よくいただく機会がある。そこには、材料や調理法に、生活の知恵や風土を生かした工夫、健康への気遣いが感じられる。長寿を誇ってきた沖縄の食文化について学び、その魅力を探る。食材の切り方から調理方法までの基礎を教わることで、伝承料理の良さを再認識し、素晴らしい沖縄の食文化を日常生活の中で生かすきっかけづくりとする。

2 講座の概要

- | | | |
|-----------|---|-----------|
| (1) 講師 | 根路銘 弘美 氏 (料理教室 サンダンカ) | 琉球料理伝承人認証 |
| (2) 日時 | 令和5年10月28日 (土曜日) 午前9時から正午まで | |
| (3) 場所 | 今帰仁村立天底小学校 | |
| (4) 受講者数 | 20人 | |
| (5) 共催 | 今帰仁村教育委員会 | |
| (6) プログラム | <ul style="list-style-type: none"> ・開会 ・講師紹介 ・講座スタート「本格的な琉球料理を学ぼう！味わおう！」 <li style="padding-left: 20px;">(1) 実習 (2) 試食 (3) 片付け ・ふり返り・アンケート | |



3 成果

- ・出汁のとり方、食材の切り方、おもてなしの心が現れる切り方など琉球料理の基礎を学ぶことができた。いつもの料理が、少しのことでこんなに美味しくなったと受講者から喜びの声がたくさん聞こえた。
- ・調理の仕方だけでなく、琉球料理の歴史や意味なども学ぶことができた。
- ・沖縄県文化観光スポーツ振興課から「琉球料理」資料をいただくことができ、沖縄の食文化について、貴重な話を聞くことができた。

4 課題

- ・当日キャンセルの対応
- ・時間の超過。4グループ編成を5グループ編成にして行ったが、講師が各グループへの回り、丁寧な指導をすることを考えると4グループ編成で開催した方がよかった。

親子で楽しむリトミック&ベビーヨガ

1 講座の内容

音楽に合わせて体をリズムカルに動かすリトミックは、乳幼児から始めることができ、子どもの発達にもいい影響があると考えられている。今回の講座では、保育施設や音楽教室等でも広がりつつあるリトミックと保護者のリフレッシュも兼ね、親子でできるベビーヨガのコラボレーションした講座を開催。本講座を通し、未来を担う子どもたちと家族に、親子で触れ合う時間の幅を広げ、楽しく過ごす機会を作る。

2 講座の概要

- (1) 講師 友利 歩 氏 (音楽教室「ポポロ」)
上原 麻沙子 (ベビーヨガ講師)
- (2) 日時 令和5年11月18日 (土曜日) 午前9時30分から午前11時30分まで
- (3) 場所 名護市 羽地支所
- (4) 受講者数 17人 (8組)
- (5) 共催 名護市教育委員会
- (6) プログラム
 - ・開会
 - ・講師紹介
 - ・講座スタート「親子で楽しむリトミック&ベビーヨガ」
(1) リトミック (2) ベビーヨガ
 - ・ふり回り・アンケート



3 成果

- ・たくさんの家族と交流しながら、いつもと違う親子で音楽や絵本に親しむ時間、親子で触れ合う時間をつくることができた。
- ・平日だと仕事で参加できないので、土曜日開催をしていただき、とてもありがたいという声があった。父親の参加もあった。
- ・地域の施設の周知。開催場所は、名護市より少し離れたところであるが、図書館や親子で遊べる広場があり、今度は親子で遊びにきたいという声があった。

4 課題

- ・事前申込者キャンセルによる受講者の確保

健康動作法で体を弛めてリラックス

1 講座の内容

健康で豊かな暮らしは、誰もが望むことである。しかし、日常生活の中では、気づかないうちに身体に負担がかかる姿勢で過ごしたり、緊張状態が続いたりして歪みが生じている場合が多いといわれている。本講座では、どの年代の人でも、自宅で手軽にできる健康動作法を学び、身体の正しい使い方を身につけ、肩こりやひざ痛、腰痛の緩和・予防を目指す。

2 講座の概要

- (1) 講師 神谷 義人 (名桜大学 人間健康学部スポーツ健康学科助教)
- (2) 日時 令和5年12月9日(土曜日) 午前9時30分から午前11時30分
- (3) 場所 宜野座村多目的スポーツ施設
- (4) 受講者数 14名
- (5) 共催 宜野座村教育委員会
- (6) プログラム
 - ・開会
 - ・講師紹介
 - ・講座スタート「健康動作法で体を弛めてリラックス」
 - (1) 講義
 - (2) 実践
 - ・ふり返り・アンケート



3 成果

- ・講義から実践という講座の流れがあったので、受講者にとって、学んで体験し、良さを実感できる内容だった。
- ・地域団体にも声をかけたことで、受講者からサークル活動との関連性があり、とても良かったという声があった。
- ・今後、名桜大学の公開講座にも足を運び、続けていきたいと声があった。関係機関と連携した講座の開催が、受講者の学びのきっかけ、継続的な学びに繋がる可能性を感じた。

4 課題

- ・事前申込者キャンセルによる受講者の確保

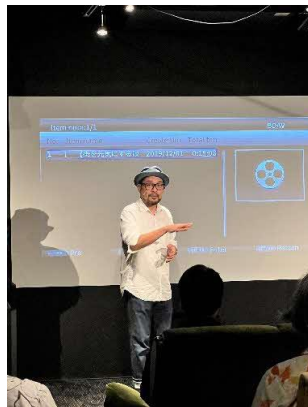
ミニシアターが地域社会にできるささやかなこと

1 講座の内容

これからの時代、ますますローカルのコミュニケーションが必要とされると注目されています。本講座では、ミニシアターが持つ可能性と、様々なテーマの映画鑑賞を通じたコミュニティ形成の可能性について学びます。

2 講座の概要

- (1) 講師 宮島 真一 氏 (Vacant Store Pictures代表)
- (2) 日時 令和5年6月22日(木曜日)午後6時から午後8時まで
- (3) 場所 シアタードーナツ (沖縄市中央1-3-17)
- (4) 受講者数 21人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・宮島氏紹介動画鑑賞
 - ・講話



3 成果

- ・ミニシアターでの開催ということもあり、関心も高く応募者も多数あった。
- ・ミニシアター館長の宮島さんのお人柄やフランクな話、内容がとても良かった。
- ・シアタードーナツの存在は知っていたが実際に訪れる機会がなかったので講座をきっかけに来館できた。
- ・楽しく分かりやすい内容で気づきがたくさんあった。

4 課題

- ・今回シアタードーナツでの講座開催でしたが、中頭教育事務所に対応すべき問い合わせが直接お店の方に問い合わせが何件かあったので次回から開催場所に負担のならないよう対応策を考える。

はじめて使うスマートフォン講座

1 講座の内容

シニアやスマホ初心者の方へスマホをより安心、安全、便利かつ快適にお使い頂けるよう、指の使い方、電話、地図、写真、カメラ、音声機能などスマホの使い方を教えます。

2 講座の概要

- (1) 講師 仲元 沙羅 (ソフトバンク認定スマホアドバイザー)
- (2) 日時 令和5年7月20日(木曜日)午前10時から正午まで
- (3) 場所 中頭教育事務所
- (4) 受講者数 17人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・スマホの使い方説明
 - ・スマホを使って実践



3 成果

- ・スマホは持っているが、使い方がよく分からなかったのが、少し使えるようになったので良かった。
- ・丁寧に説明・サポートしていただき良かった。
- ・スマホを持っているが、まだ使いこなしていないので大変良かった。
- ・持っている機種を使いこなしたいということで受講し、とても分かりやすく、内容、体験等良かった。

4 課題

- ・最後のQRコード読み取りの仕方をもう少し時間をかけて説明してほしいかった。
- ・学びのパスポートを忘れていた方がいたので、情報を事前に講座チラシに掲載する。

親子プログラミング講座

1 講座の内容

IT社会に向けた人材や、子どもの論理的思考の育成などを目的として日本でも2020年から小学生のプログラミング教育が必須化された。デモ機やロボットを使い、プログラミングの基本的な考え方が体験でき、親子で楽しめる体験型講座。

2 講座の概要

- (1) 講師 天野 綾 氏 (ソフトバンク認定スマホアドバイザー)
- (2) 日時 令和5年8月8日(火曜日)
第3回：午前10時から午前11時まで／第4回：午後2時から午後3時まで
- (3) 場所 中頭教育事務所
- (4) 受講者数 20組 (親21人・子ども24人)
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・使い方説明
 - ・実践



3 成果

- ・体験がメインとなるので、内容としては良かった。
- ・分かりやすく、質問やエラー対応もすぐ対処してくださり、楽しんで受講できた。
- ・子どもが自分で集中して、試していたので良かった。
- ・アプリを使ったり、実際にロボットを動かす事を体験し、楽しく学習できる講座だった。

4 課題

- ・講座開催の確認メールや電話を前日にしたが、当日連絡なしのキャンセルが2組でた。人気講座で50組以上の申込があり、お断りした方が多かっただけに「連絡なし」のキャンセルは残念だった。

自分らしく生きる大切さ ～性同一性障害から学んだこと～

1 講座の内容

又吉家の「長女」として産まれるが、幼稚園の頃、自身の性別に違和感を持ち始める。心と体の性別が一致しないため日常のさまざまなところで不便や苦悩、葛藤などを経験。自らの体験を通して自分らしく生きる大切さを性同一性障害当事者として伝える多様性の知識を深める講座。

2 講座の概要

- (1) 講師 又吉 弥篤 氏 (性同一性障害当事者・消防吏員)
- (2) 日時 令和5年9月30日(土曜日) 10:00～12:00
- (3) 場所 中頭教育事務所
- (4) 受講者数 21人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・ 開講式
 - ・ 講話
 - ・ 質疑応答



3 成果

- ・ 言葉では分かっているけど受け止め方が分からないことについて、捉え方が少し変わった。
- ・ 「知る事」「自分を好きになること」を意識していきます。
- ・ 当事者の率直な体験や気持ち、関わってきたご両親の話をフィルターなしで聞くことができ、とても理解しやすかった。頭では分かっているけど、実際の困り感や悩みを聞くことで、より具体的に感じる事ができた。
- ・ 学校で相談業務に携わっているが、性別の違和感を感じる子供たちが増えている。勇気を持って話してくれた子供たちを支えていけるよう一緒に向き合いたいと思う。

4 課題

- ・ 学びのパスポートの案内が不十分で、講座終了後に新規発行希望者が数名いて、急いで作成した。次回から講座が始まる前に案内して、講座前半もしくは休憩時間に申込書を提出して頂くよう、明確に伝える。

しまくとぅば講座

1 講座の内容

オランダ出身の講師から、琉球諸語の基礎知識や話すための勉強法、未来へ継承していくための活動等について学ぶ。沖縄の郷土で育まれた言葉の魅力を知り、郷土の文化を大切にすることを育む。

2 講座の概要

- | | |
|----------|----------------------------|
| (1)講師 | ハイス・ファン＝デル＝ルベ 氏（言語学博士） |
| (2)日時 | 令和5年10月14日（土曜日）午前10時から正午まで |
| (3)場所 | 中頭教育事務所 |
| (4)受講者数 | 16人 |
| (5)共催 | なし |
| (6)プログラム | ・開講式
・講話
・質疑応答 |



3 成果

- ・外国人のウチナーグチに不思議な感覚に刺激がありました。
- ・しまくとぅばをどうにか伝えていきたいという思いはあるものの方法を模索中ですが、身近なところから始めていきたいと考えました。
- ・ユニークな講話であった。
- ・ハイスさん、活気があり、いろんな地域の言葉を愛し、楽しんでおられるのがまず魅力的でした。とてもわかりやすかった。
- ・私もウチナーグチ話せるようになれる！と希望が持てました。

4 課題

- ・レジュメの配布を希望される方がいた。次回から事前に講師へ確認する。
- ・迷って遅れて参加する方がいたため、開催場所の案内を分かりやすく伝える必要がある。
- ・チラシの配布方法など検討する。

おでかけよしもと放課後クラブ 漫才ワークショップ

1 講座の内容

お笑いコンビありんくりんが教える漫才ワークショップ。子供たちがコンビを決め、台本を作成し、漫才を発表する体験型講座。将来の沖縄を担う子ども達が楽しみながらチャレンジできる場をつくり、子ども達の夢を一緒に作るお手伝いをします。

2 講座の概要

- (1) 講師 ありんくりん（よしもと沖縄）ひがりゆうた氏・クリス氏
- (2) 日時 令和5年11月25日（土曜日）午前10時から正午まで
- (3) 場所 中頭教育事務所
- (4) 受講者数 6人（3組）保護者見学（5名）
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・ワークショップ
 - ・質疑応答



3 成果

- ・台本を作るのは難しかったけど、ありんくりんさん達が教えてくれたので、コツをつかみました。本番は緊張したけど、楽しくできました。
- ・最初は不安だったけど、ありんくりんさんが教えてくれて、上手くできてほっとしました。相方と一緒に楽しむことができ、とてもいい経験ができて嬉しいです。
- ・和やかな雰囲気、終始楽しく過ごせました。なかなか経験出来る事ではなかったので、楽しかったです。
- ・人の前でしっかり話すことを教えてもらいました。

4 課題

- ・学校行事との重なりでキャンセルが多かったので、子供対象の講座は夏休みに開催したい。
- ・周知方法の工夫が必要。

沢登り

1 講座の内容

沢登り（沖縄県国頭村楚洲伊江川）。野外で安全に過ごすために覚えておきた知識と技術を学ぶ講座。沖縄の大自然を知る。

2 講座の概要

- (1) 講師 沖縄県総合運動公園 所長 福島 誠司 氏
- (2) 日時 令和5年7月1日土曜日 午前10時から午後2時まで
- (3) 場所 沖縄県国頭村楚洲伊江川
- (4) 受講者数 21名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ①集合 8時 沖縄県総合運動公園 10時 現地集合
 - ②説明 ライフジャケットの付け方、川の歩き方、流れの読み方など
 - ③食事 (福島さんお手製の中華粥)
 - ④解散 14時 現地解散 16時 沖縄県総合運動公園



3 成果

- ・子供たちが、自然に興味を持つきっかけになり、最初水の深さにも怖がっていたのが、慣れ楽しんでいて、自信に繋がった。
- ・子供たちの、たくましい姿がみれた。
- ・心強い案内で、安心して自然に触れ合うことが出来き楽しく過ごせた。

4 課題

- ・靴を忘れて、サンダルでケガをしてしまった（足の爪が剥がれる）
→参加者に事前の情報提供、持ち物等の確認を行う。

バックヤードツアー

1 講座の内容

バックヤードツアー・学芸員による展示説明

2 講座の概要

- (1) 講師 沖縄県立博物館・美術館 学芸員
(2) 日時 令和5年8月10日(木曜日) 午後1時30分から午後4時まで
(3) 場所 沖縄県立博物館・美術館
(4) 受講者数 21名
(5) 共催 なし
(6) プログラム ①受付
②開講式 講座の説明 講師紹介
③美術館バックヤード見学(A班) 博物館バックヤード見学(B班)
④ 休憩
⑥博物館バックヤード見学(A班) 美術館バックヤード見学(B班)
⑦閉講式 アンケート記入・記念撮影など



3 成果

- ・博物館・美術館それぞれを見比べることができて良かった。
- ・物によって、気温や湿度を変える工夫など、貴重なお話を聞いて勉強になりました。
- ・作品を守る工夫など、知れて、丁寧な説明で、凄さが良くわかりました。

4 課題

- ・声が後ろまで聞きづらかった。
⇒マイク等使用する。

SUP&カヌー

1 講座の内容

海上保安部交通課から、海で安全に過ごし方のお話を聞く。安全にSUP&カヌーの乗り方や降り方パドルの操作方法を学び体験する。

2 講座の概要

- (1) 講師 沖縄県総合運動公園 所長 福島 誠司 氏
- (2) 日時 令和5年10月8日(日曜日)午前10時から午後1時まで
- (3) 場所 沖縄県総合運動公園 50mプール
- (4) 受講者数 31名
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム ①集合 10:00～ 受付 9:45～
②海上保安庁 海に出る際の注意点
③SUP、カヌーの乗り方説明
④各自SUP&カヌーの体験
⑤食事(芋煮うどん)
⑥集合写真撮影
⑦着替えて 解散 13:00



3 成果

- ・子どもが最初怖がってけど、最後は一人でSUPをできていた。
- ・ご指導のもとで、要領を得ることが出来ました。
- ・初めてSUPをしました。思ったより簡単で楽しかった。

4 課題

- ・特になし

キャンプ料理

1 講座の内容

キャンプ料理（生パスタ、ジャガイモのガレット、ポークチャップ、ホワイトスープ）や外国の食文化の説明を聞き、薪割りや、日常出来ないアウトドア料理を楽しむ。

2 講座の概要

- (1) 講師 沖縄県総合運動公園 所長 福島 誠司 氏
(2) 日時 令和5年11月11日(土曜日)午前9時30分から午後1時まで
(3) 場所 沖縄県総合運動公園 郷土館
(4) 受講者数 19名
(5) 共催 なし
(6) プログラム ①集合 9:30～ 受付 9:15～
②料理の説明
③薪割り
④食事（生パスタ ガレット ポークチャップ スープ等）アンケート記入
⑤集合写真撮影
⑥解散 13:00



3 成果

- ・スタッフの下準備のお陰で、2歳児から70歳代まで、色々な調理方法、海外のお話を聞いて、同じ食材でも、バラエティーに楽しめたと好評でした。
- ・子供たちは、薪割りを、何度もチャレンジして楽しそうにしました。

4 課題

- ・今回配布資料がなかったので、家でも作れるよう、レシピがあれば良かった。などの意見がありました。⇒レシピなど配布できるよう準備する。

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

与那原を代表する伝統文化、与那原大綱曳は那覇・糸満と並ぶ沖縄県の三大大綱曳の一つとして知られている。440年余の歴史があり、豊作祈願、無病息災を願う神事として現在まで受け継がれた。特徴として、綱の上に支度を乗せることから始まり綱曳が終了するまでの一連の流れに区切りがなく、連続した動きが他と比較して最も華やかだと称えられている。大綱曳の歴史文化に触れ、綱作りから競技としての魅力の奥深さにも直接、触れて学ぶ。

2 講座の概要

- (1) 講師 上原 正巳 氏 (与那原大綱曳資料館 前館長)
- (2) 日時 令和5年8月26日(土曜日)午前9時から正午まで
- (3) 場所 与那原大綱曳資料館
- (4) 受講者数 37人
- (5) 共催 与那原町教育委員会
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・講話「与那原綱曳」 講師：上原 正巳 氏
 - ・体験活動（綱曳映像、綱作り、綱曳、VR、わら編み）
 - ・アンケート、感想記入



3 成果

- ・前資料館長から直接講話を聞くことができ、与那原町のみならず他地域の綱曳についての理解が深まった。
- ・講話、映像視聴、体験活動など活動が充実し、子どもから大人まで楽しめる内容だった。
- ・受講後の感想からも、与那原町及び自分の地域行事に参加したいという声が挙がり、自分の地域についても関心を高めることにつながった。
- ・今回の講座については夏休みの土曜日に設定したことで、子どもから大人まで幅広い世代の方々が受講することができた。

4 課題

- ・綱づくりに触れるためわら編み体験を取り入れたが、活動時間が十分に確保できなかったため、作品を未完成のまま持ち帰る方もいた。内容の精選が必要。

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

与那原町は戦前から赤瓦の産地としても有名であり、ヤチムン（焼物）も盛んである。町内には赤瓦工場があり、工場を見学することにより、赤瓦への地域を深めることで郷土への愛着を深める。また、与那原瓦を使った瓦プレート作り体験を通して、作品づくりの良さや文化継承の大切さを見つめる。

2 講座の概要

- (1) 講師 有限会社 当山瓦工場 専務 当山 詠樹 氏
奥原製陶所 奥原 崇太 氏
- (2) 日時 令和5年9月28日(木曜日)午前9時から正午まで
- (3) 場所 与那原瓦工場、与那原町コミュニティセンター
- (4) 受講者数 20人
- (5) 共催 与那原町教育委員会
- (6) プログラム
- ・開講式
 - ・工場見学「与那原瓦」
講師：当山 詠樹 氏
 - ・体験活動「瓦プレート作り」
講師：奥原製陶所 奥原 崇太 氏
 - ・アンケート、感想記入



3 成果

- ・与那原町で瓦づくりが行われていることを知らない方もおり、赤瓦の特徴や瓦の製作過程について解説しながら工場内を案内してもらうことで、与那原瓦への理解が深まった。
- ・赤瓦の歴史に触れることで、沖縄の文化の大切さを改めて見つめるきっかけになった。
(受講者の感想より)
- ・与那原瓦を使ったプレートへの絵付け体験は、思い思いの色づけをし、思い出に残るお気に入りの作品となったようだ。

4 課題

- ・悪天候の中マイクロバスでの移動があり、工場への出入りが大変だった。雨天時の見学の仕方を事前に相談しておく必要がある。

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

日本全国に怪談のない地域は存在しない。各地の「ご当地怪談」がブームにもなっている。その土台には、地域愛や地域文化の復興等、魅力ある地域づくりにつながる思いが込められている。島尻地区にも、地域に結びついた昔から伝承される怖い話や怪談、奇妙な風習等が数多くあり、地域ごとの歴史、信仰、民俗、地域住民の気質等と密接に関連した、その地域ならではの怪談の怖さや不思議さ、面白さに触れる機会とする。

2 講座の概要

- (1) 講師 小原 猛 氏 (作家)
- (2) 日時 令和5年10月12日(水曜日)午後2時から午後4時まで
- (3) 場所 教育庁島尻教育事務所
- (4) 受講者数 34人
- (5) 共催 与那原町教育委員会
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・講話「沖縄南部に伝わる怪異譚」 講師：小原 猛 氏
 - ・アンケート、感想記入



3 成果

- ・与那原町に在住の小原さんのお話は、地域に伝わる昔話や怖い話など多岐にわたり、受講者を惹き付ける内容であった。そこには地域や伝統文化を愛する思いも含まれており、自分の地域にはどんな伝承があるか見つめるきっかけになったという感想も挙がった。
- ・テレビや新聞等で著名な小原猛さんが講師ということで、興味関心をもって受講する方が多かった。
- ・地域に伝わる昔話を児童向けに脚本化して、平和学習に実演できるようにしたいという具体的なねらいにつながった。

4 課題

- ・受講生が多かったため、座席が後ろの方にマイクを通しての音が聞こえにくかったようである。音響のチェックも万全に行う必要がある。

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

沖縄女子短期大学は1966年に設立され、2015年に那覇市から与那原町に移転した。現在は、総合ビジネス学科と児童教育学科を有する男女共学の私立大学である。専門分野の学びを保障し、一人一人の学生の個性を大切にする環境に配慮し、幅広い人材を輩出している。同大学の施設見学並びに授業の一部参観や体験活動を通して、社会に開かれた学校づくりに向けた生涯学習の場として地域資源を活用する機会とする。

2 講座の概要

- (1) 講師 玉城 哲人 氏（沖縄女子短期大学 准教授）
- (2) 日時 令和5年11月8日(水曜日)午後1時から午後4時まで
- (3) 場所 沖縄女子短期大学、与那原町コミュニティーセンター
- (4) 受講者数 23人
- (5) 共催 与那原町教育委員会
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・大学見学（施設見学、授業観察、図書館案内）
 - ・体験活動「身近にあるものを使ったおもちゃづくり」 講師：玉城 哲人 氏
 - ・アンケート、感想記入



3 成果

- ・沖縄女子短期大学とはこの講座を機に連携するよい機会となった。事前に細かく打ち合わせを行ったことで、マイクロバスを利用し、大学見学及び一部の授業参観を行うことができた。
- ・県民カレッジ講座のために、センター長の廣瀬教授が配布用資料を提供していただき、さらに丁寧に大学施設を案内してくださった。受講者からは、充実した教育環境に感激し、地域に開かれた図書館に引き寄せられ、今後利用したいという声があがった。
- ・おもちゃ作りでは、玉城先生が意図的に何をつくるか知らせず、「大人のワクワクを感じよう！」をテーマに久しぶりの工作に熱中して取り組んだ。廃品を使ったおもちゃ作りに個性の大切さを感じた方もいた。

4 課題

- ・片付けのことも考え、ゴミ袋や清掃用具も準備しておくよかった。
- ・工作が苦手な方もいたため、ペアを組んで教え合いができる工夫もするとよかった。

～『島尻は一つ』魅力ある地域の再発見～

1 講座の内容

与那原町は、沖縄琉球王朝の時代において、王府の重要な祭祀儀礼の場である。国王に靈力を与える最高神女「聞得大君(きこえおおきみ)」の就任儀礼である「御新下り(おあらおり)」の際は、与那原親川(えーがー)にて「御水撫で(うびなで)」が行われた。町内にある御殿山(うどうんやま)、親川は王府の聖地巡礼である東御廻り(アガリウマーイ)」の一つとしても有名であり、東御廻りは現在に受け継がれた祖先崇拝の行事である。御殿山、親川その他を散策する。また、与那原町の戦前の軽便与那原駅舎の復元や展示資料館等を見学し、与那原町の歴史を紐解く。

さらに、与那原町の特産品であるひじき料理の実習を行い、地産地消を学ぶ機会とする。

2 講座の概要

- (1) 講師 知念 政枝 氏、國吉 富貴子 氏 (よなばる観光まちづくりネットワークガイド)
瀬底 雄子 氏、瀬底 タケ子 氏
- (2) 日時 令和5年12月6日(水曜日)午前9時から正午まで
- (3) 場所 与那原町コミュニティーセンター
- (4) 受講者数 24人
- (5) 共催 与那原町教育委員会
- (6) プログラム
- ・開講式
 - ・地域散策 講師：知念 政枝 氏、國吉 富貴子 氏
 - ・体験活動「ひじきを使った料理づくり」
講師：瀬底 雄子 氏、瀬底 タケ子 氏
 - ・アンケート、感想記入



3 成果

- ・本島内では一番小さな町である与那原町を、ガイドさんに案内してもらいながら地域散策することで、「車で通り過ぎる町」から「歴史的にも発展した町」であることに気づかされた。「再発見」ならず「新発見」の散策であったという声も受講者から挙がった。
- ・与那原の歴史に触れることで、沖縄の歴史理解の未熟さを痛感し、今後、学びを重ねることの必要性を感じた方もいた。
- ・与那原の特産品でもあるひじきを使って、簡単にできる和え物づくりを体験し、グループの仲間と交流しながら楽しく調理し、充実した講座となった。

4 課題

- ・調理実習は、準備、片付けに時間がかかるため、余裕をもって計画を立てたつもりであったが、時間内に終わることができなかった。活動の組み合わせを見直し、検討する必要がある。

身近なことからSDGsを体験し宮古島の豊かさを守ろう

1 講座の内容

- ①『「カレーを作る」ことを想定し、材料の何をポイント(値段、量、消費期限、無農薬など)に選ぶかを、グループで話し合っって模擬買い物する。
- ②SDGsの目標14「海の豊かさを守ろう」、15「陸の豊かさを守ろう」の視点から、宮古島の海の生き物、陸上の生態や環境などに触れ自然の豊かさを学ぶ

2

- (1)講師 春川 淳 氏 春川 京子 氏 (共に NPO法人 宮古島海の環境ネットワーク)
- (2)日時 令和5年7月30日(日曜日)午後1時から午後3時まで
- (3)場所 宮古合同庁舎5階(研修室)
- (4)受講者数 13人
- (5)共催 なし
- (6)プログラム
 - ・宮古教育事務所 与那覇主事 開会挨拶等
 - ・講義「身近なことからSDGsを体験し宮古島の豊かさを守ろう」：春川淳氏
 - ・アンケート、次回講座の案内



3 成果

講師には、小中学校で環境について特設授業を行う団体に依頼した。通常と違うのは異学年で学校の違う児童生徒たちが参加。参加した児童生徒は、終始真剣な表情で意欲的に取り組んでいたのが印象的でした。以下、参加者のアンケートより抜粋

- ・買い物がSDGsにつながっているのを分かりやすく知れました。
- ・宮古固有の生き物について知り、これからも考えてみたいと思った。
- ・絵や写真を使っっての説明が分かりやすかった。
- ・小学校で学んでいた事などを忘れていたが、思い出すことができて良かった。
- ・これからの将来に役に立つと思ったから参加して良かった。
- ・SDGsについて、もっと詳しく調べようと思った。

4 課題

- ・課題はなし

点字について

1 講座の内容

本講座を通し、点字の普及啓発、視覚障がい者への理解促進、コミュニケーションの向上。点字は視覚に障がいを持つ方々が使用するものですが、健常者も点字を理解することで視覚に障がいを持つ人たちとのコミュニケーションの障壁を低くすることができると思う。

また、点字講座を通じて文字とは異なる独自の表現方法やその他創造的な表現方法を学ばせる。

2 講座の概要

- (1) 講師 砂川 尚輝 氏 伊志嶺 綾乃 氏
- (2) 日時 令和5年8月5日(土曜日)午後1時から午後4時15分
- (3) 場所 宮古合同庁舎5階(研修室)
- (4) 受講者数 26人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・講座「点字」
 - ・閉講式



↑↑
点字の仕組みについて説明



↑↑
点字器を使っての入力中

3 成果

親子で点字について学習して欲しく夏休み期間に計画、実施した。講座中、参加者は隣の人と一緒に対話を楽しみながら、点字の成り立ち、読解、入力に真剣に取り組んでいました。

- ・指で触っても点字が読めなく難しかった。視覚障がいを持っている方の大変さを知った
- ・謎解きみたいで楽しかった
- ・もっと点字について知りたい
- ・点字について詳しく知れた
- ・購入してそのままの点字の参考書を、読んでみようと思った
- ・講師が優しく、丁寧に教えてくれた

4 課題

- ・特にありません

親子でロボットプログラミング

1 講座の内容

- ①ロボットを組み立て、動かすためのプログラム作成を通して、クリエイティブな思考や想像力の養成することができる。
- ②親子で協力して課題(プロジェクト)を解決することを通し、コミュニケーションの促進、さらに自己肯定感や自信を高めることができる。

2 講座の概要

- (1) 講師
 - ・下地 勇也 氏 (沖縄県宮古特別支援教諭)
 - ・大熊 範彦 氏 (アフタースクールティダっ子学園)
- (2) 日時 令和5年8月20日(日曜日)午後1時50分から午後5時まで
- (3) 場所 宮古合同庁舎5階(研修室)
- (4) 受講者数 14人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・講義「親子でロボットプログラミング」
 - ・閉講式



↑説明書を見てロボットを組み立てに挑戦！ センサ(タッチセンサー、カラーセンサー、超音波センサー)も活用



↑ロボットの動きをプログラミングする。進む、曲がるなど何気ない動作プログラムに四苦八苦しながら親子で取り組んでいます。



↑ロボットの試行課題
・2m先で止まる
・障害物を迂回する
・センサーを使ってブロック回収

3 成果

親子で一緒にプログラミングに理解を深め、また課題に対して親子で粘り強く取り組む様子が見られ共に達成を強く感じさせることができた。参加者の感想は下記のとおり。

- ・大好きなロボットを動かして楽しかった
- ・子どもと一緒にロボットを動かしたかった
- ・もっとプログラムを勉強して、ロボットを自由に動かしてみたい
- ・今日動かしたロボットのようにレストランの配膳ロボットもプログラミングすることで動くのを初めて知った。もっとプログラムを勉強してみんなの役に立つロボットを自由に動かしてみたい！

4 課題

- ・講師との綿密な打ち合わせの甲斐もあり、課題はなし

プロビデンス号の航跡と大航海時代

1 講座の内容

1797年、パンの木運搬船であったプロビデンス号が池間島沖の八重干瀬で座礁した。そのとき島民によって救助され、手厚いもてなしを受け帰国したことは知られている。また、船員の叛乱で有名なバウンティ号もパンの木運搬船であった。両船は因縁浅からぬ仲なので、その関係及び大航海時代におけるパンの木の意義について講話を行う。

2 講座の概要

- (1) 講師 池城 直 氏 (宮古郷土史研究会)
- (2) 日時 令和6年2月18日(日曜日) 午前9時30分から午後0時30分まで
- (3) 場所 宮古合同庁舎5階(研修室)
- (4) 受講者数 25人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講式
 - ・講話「大航海時代とプロビデンス号の航跡」：池城 直 氏
 - ・視察「プロビデンス号の模型 及び 来航200周年記念碑」視察
 - ・閉講式



↑大航海時代を学習中↑



↑プロビデンス号の模型↑

プロビデンス号来航200周年記念碑→

3 成果

- ・(アンケートの集計より)参加者から“大変良かった”“良かった”と好評でした。
- ・予習してきた参加者も多く、講師に質問をしていた。興味高い講座が開催できたと感じる。
- ・事前に保険に加入したり、開催に向け、講師と綿密な計画を立てた。(事故、ケガは無)



4 課題

- ・予想を超える当日参加者の対応
- ・模型視察、記念碑建立の経緯について地域の2人に説明をしていただいたが、少額の予算で報奨金を渡すことができなかった。質の高い講座を目指すため予算の増額を切に願います。

八重山の「自然・文化」に学ぶ ～ハーブ生葉で綿スカーフ染め～

1 講座の内容

世界や日本そして、沖縄や八重山地方における草木染めの歴史や活用方法について理解を深める。創作活動では八重山の島々で古から行われてきた身近に自生する植物を活用した染め物体験を行う。今回はミカン科ゲッキツ属の「ゲッキツ」とベニノキ属の「ベニノキ」を用いる。講師の指導の下、3つの班に分かれて受講生各々がオリジナルの綿スカーフ染めにチャレンジする。

2 講座の概要

- (1) 講師 嵩西 洋子 氏
- (2) 日時 令和5年8月12日(土曜日)午後1時から午後4時まで
- (3) 場所 沖縄県立石垣青少年の家
- (4) 受講者数 20人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講のあいさつ
 - ・講話「草木染めの歴史、ハーブ染色の行い方」
 - ・実習「ハーブ生葉で綿スカーフ染めの制作」
 - ・質疑応答



3 成果

- ・世界や日本本土そして、沖縄や八重山の草木染めの歴史について理解が深められた。
- ・八重山の島々では、伝統的に身近に自生する色々な植物を活用して染め物が行われていることや、魅力的な文化として日常に彩りを添えてきたことについて、理解を深めることができた。
- ・受講生各々が世界に一つだけのオリジナルスカーフ染めを仕上げることができた。

4 課題

- ・専門的な内容が主となるため、作業手順や作業工程を受講者に分かりやすく伝えるための工夫が必要といえる。

八重山の「自然・文化」に学ぶ ～ハーブローション&ローズマリー～

1 講座の内容

ローズマリー・バーム（軟膏）の歴史や効能について理解を深める。その後、受講生は講師の指導の下、ローズマリー・ワセリンとハーブローション作りを行う。

2 講座の概要

- (1) 講師 嵩西 洋子 氏
- (2) 日時 令和5年8月13日(日曜日)午後1時から午後4時まで
- (3) 場所 沖縄県立石垣青少年の家
- (4) 受講者数 23人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・講話「ローズマリー・バーム（軟膏）、ハーブローションについて」
 - ・実習「ローズマリー・バーム（軟膏）制作、ハーブローション制作」
 - ・質疑応答



3 成果

- ・ローズマリーの歴史や利用方法、効能について講師から分かりやすく説明がなされ理解が深められた。
- ・受講生の多くが昨日から連続の受講生で一連の作業行程を良く理解し、スムーズに作業が行われた。
- ・身近に自生するローズマリーや月桃などの植物でローズマリー・バームやハーブローションを作る事ができ、受講生一人一人の満足した笑顔がみられた。

4 課題

- ・事前に申し込みを行わず、当日参加した受講生が数名いたため受付や準備資料の確保に多少とまどいが生じた。次年度以降、当日参加の可否について検討が必要である。

八重山の「自然・文化」に学ぶ ～八重山の伝統凧を作ろうⅠ～

1 講座の内容

八重山地方ではかつて正月の風物詩として凧揚げが盛んにおこなわれていた。古くから伝わる伝統凧の種類は八角凧やシャクシャメー凧などがある。今回の講座では八角凧を作成する。本来であれば、竹割や竹削りを行う過程から行うが、今回の講座は時間の関係上あらかじめ用意された竹を用い骨組み作業をして、凧紙張りまでの一連の工程を行う。

2 講座の概要

- (1) 講師 仲間 清隆 氏
- (2) 日時 令和5年10月14日(土曜日)午後1時から午後4時まで
- (3) 場所 沖縄県立石垣青少年の家
- (4) 受講者数 15人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・主催者あいさつ
 - ・説明「本日の作業工程について」
 - ・実習「骨組み作業～凧紙張り～霧吹き」
 - ・質疑応答、明日の日程確認



3 成果

- ・八重山の伝統凧（八角凧やシャクシャメー凧）などについて理解が深められた。
- ・ほとんどの受講者は凧作りに初めてであったが、講師の丁寧な指導の下、個人差はあったものの一連の作業を時間内に終えることができた。
- ・八重山凧愛好会の方の全面的な支援があり大いに助かった。

4 課題

- ・受講者の人数に対してやや不足する材料があった。

八重山の「自然・文化」に学ぶ ～八重山の伝統凧を作ろうⅡ～

1 講座の内容

本日の講座は、昨日、紙張りまで行った凧に色付けと尺付けが主な作業内容である。まず最初に、凧の中心部に大きな円を描き朱色を塗る。そして、八つの角の三角部分に内接する円を描きその周りを墨で色付けを行う。（講師の説明によると、「色を塗ることで、空に舞い上がった際、凧の輪郭がはっきり見えて美しい」とのこと。）最後にアダンの根（気根）を割いた糸で尺をつけ完成させる。

2 講座の概要

- | | |
|-----------|-----------------------------|
| (1) 講師 | 仲間 清隆 氏 |
| (2) 日時 | 令和5年10月15日(日曜日)午後1時から午後4時まで |
| (3) 場所 | 沖縄県立石垣青少年の家 |
| (4) 受講者数 | 15人 |
| (5) 共催 | なし |
| (6) プログラム | ・実習「色塗り作業～尺付け作業」
・質疑応答 |



3 成果

- ・受講生一人一人が世界に一つだけのオリジナル八角凧を完成させることができ、満足する笑顔が見られた。また、「もっと作りたい」という声が聞こえた。
- ・講師を含め八重山凧愛好会の丁寧できめ細かな指導・支援のおかげで作業がスムーズに行われ、時間内に完成することができた。

4 課題

- ・伝統凧作りの作業工程について、受講者にさらに理解を深めてもらう為の機会の創設をどうするか。

八重山の「自然・文化」に学ぶ ～秋の星座観察～

1 講座の内容

今回の講座は、このほど「石垣島で星を観る」の書籍を出版した講師の先生を迎えて実施した。八重山各地に伝わる星座に関する民話を織りまぜながら星座観察を行った。また、講師が準備した天体望遠鏡を使って、「土星の輪」や「木星の表面のシマ模様」の観測を行った。さらに、太陽系の惑星、天の川銀河、銀河系の成り立ちなどについて理解を深めた。

2 講座の概要

- (1) 講師 友利 始夫 氏
- (2) 日時 令和5年11月4日(土曜日)午後6時から午後9時まで
- (3) 場所 石垣市立崎枝小中学校
- (4) 受講者数 20人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講のあいさつ
 - ・講話「八重山各地に伝わる星座に関する民話」
 - ・星座観察
 - ・質疑応答



3 成果

- ・秋の星座や八重山に古くから伝わる民話について学ぶことができた。
- ・星座観察のノウハウや自分で作る簡易な望遠鏡の作り方などが学べた。

4 課題

- ・夜間の講座、しかも場所が市街地から遠隔となったため、欠席する方が多かった。

(4) 学校開放講座

第1回 学校開放講座

北部農林高等学校

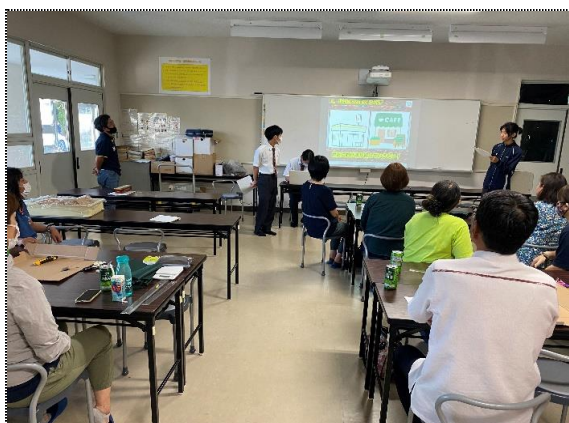
廃棄物を活用したSDG s 的取り組み講座 コーヒーグランスを活用した消臭除湿剤作り体験

1 講座の内容

本校で取り組んでいるコーヒー栽培を学ぶ中で、コーヒーを抽出した後に発生するコーヒー粕（コーヒーグランス）について学ぶ機会があり、SDG s の観点からその活用方法について調査しました。その中で消臭除湿効果があることを知り、今回、消臭除湿剤作りを実施することにしました。この取り組みを実施することで、コーヒーグランスの活用方法を普及し、コーヒー産業を取り巻く状況を知る機会としてもらいたいです。

2 講座の概要

- (1) 講師 與那原琢氏（教諭） 武田陽太（生徒3年） 志喜屋奏太（生徒3年）
- (2) 日時 令和5年10月15日（金曜日） 午後5時から午後7時まで
- (3) 場所 県立北部農林高校 熱帯農業科棟
- (4) 受講者数 10人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・開講式 校長挨拶
 - ・講義：コーヒーグランスの利用で広がるSDG s な世界
 - ・実習：コーヒーグランス 消臭除湿剤作り体験
 - ・アンケート記入



3 成果

- ・コーヒーグランスの活用方法を実践し普及することでコーヒー産業を取り巻く現状を説明することができた。
- ・北部農林高校、熱帯農業科の生徒達の日頃の学習活動を紹介する場として活用でき、地域の方々へPRできた。

4 課題

- ・使用する機材、材料等の問題で人数制限（15人）を行った。今回他コースから借りて3台使用したが、自前で機材を増やすことができれば受講人数を増やすことはできる。

廃棄物を活用したSDG s 的取り組み講座 コーヒーグランス 廃棄豆を活用したキャンドル作り体験

1 講座の内容

本校で取り組んでいるコーヒー栽培を学ぶ中で、コーヒーを抽出した後に発生するコーヒー粕（コーヒーグランス）について学ぶ機会があり、SDG s の観点からその活用方法について調査しました。その中で廃棄豆を活用したキャンドルがあることを知り、また、廃食油キャンドルの存在も分かりました。そこで今回、コーヒーグランスと廃棄豆+廃食油を活用したキャンドル作りを実施することにしました。

2 講座の概要

- | | |
|-----------|--|
| (1) 講師 | 與那原琢氏（教諭） 比嘉菜々瀬（生徒3年） 志喜屋奏太（生徒3年） |
| (2) 日時 | 令和5年10月29日（金曜日）午後5時から午後7時まで |
| (3) 場所 | 県立北部農林高校 熱帯農業科棟 |
| (4) 受講者数 | 9人 |
| (5) 共催 | なし |
| (6) プログラム | ・開講式 校長挨拶
・講義：コーヒーグランス 廃食油キャンドルの取り組み
・実習：コーヒーグランス 廃食油キャンドル作り体験
・アンケート記入 |



3 成果

- ・コーヒーグランスの活用方法を実践し普及することでコーヒー産業を取り巻く現状を説明することができた。
- ・コーヒーグランス、コーヒー廃棄豆の他に北農定時から出る廃食油を活用したキャンドル作りに挑戦することができた。
- ・北部農林高校、熱帯農業科の生徒達の日頃の学習活動を紹介する場として活用でき、地域の方々へPRできた。

4 課題

- ・使用する機材として火を使用する（カセットコンロ）ので、場所によってはできない場合がある。今後は電気のできるよう工夫が必要になるかもしれない。

いろいろな四角形の紙で鶴を折ろう

1 講座の内容

折り鶴は、正方形だけでなく、ひし形、たこ形、三角形などでも折ることができます。その数学的な原理を確認しながら、いろいろな四角形で鶴を折ります。

2 講座の概要

- (1) 講師 比嘉 辰美（沖縄県立陽明高等学校教諭）
- (2) 日時 令和5年12月9日（土曜日） 午前10時 から 正午 まで
- (3) 場所 沖縄県立陽明高等学校
- (4) 受講者数 10 人
- (5) 共催 なし
- (6) プログラム
 - ・はじめ
 - ・説明と作業
 - ・まとめ



3 成果

- ・折り鶴が折れる法則がわかった。
- ・正方形以外でも鶴を折ることができた。
- ・連鶴が紹介され、今回の折り方の有用性を感じた。
- ・受講者の年代が10代から70代と幅広かったが、小学生が高齢の参加者に教える場面もあり、異年代交流ができた。

4 課題

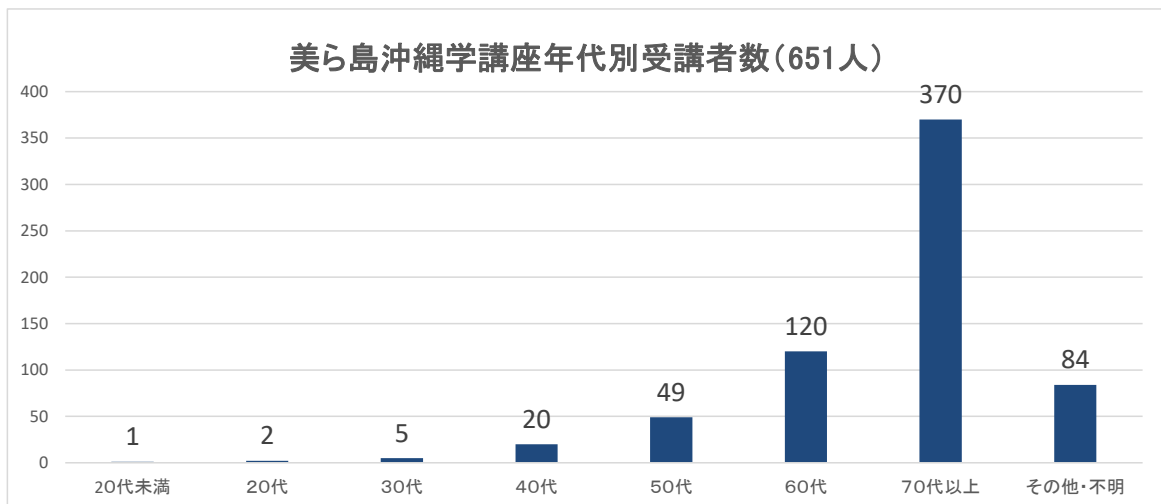
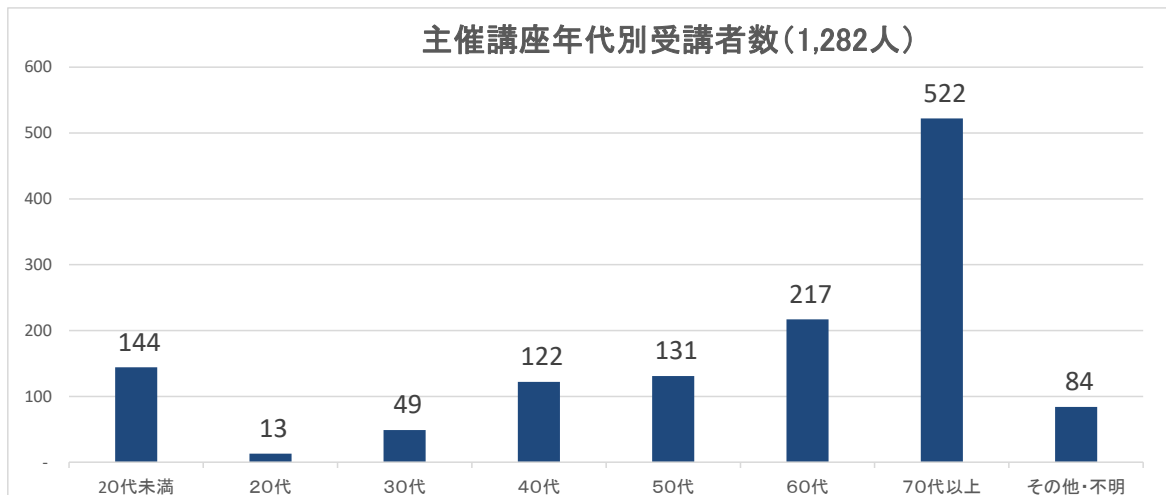
- ・申込方法が Google フォームのみで、特に高齢の方には申込みが難しかった。

3 主催講座受講生アンケートより

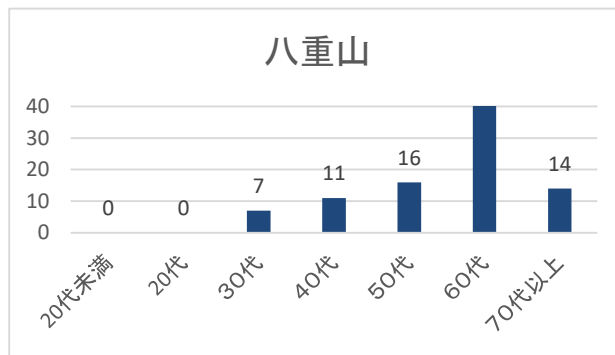
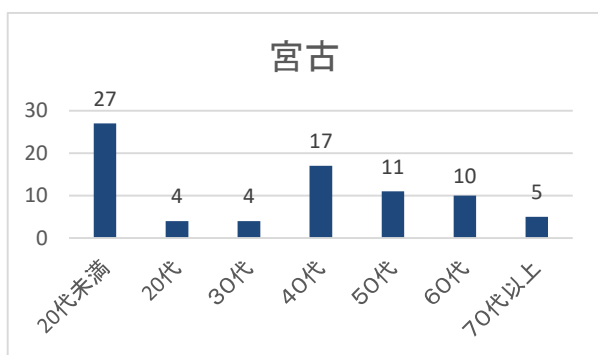
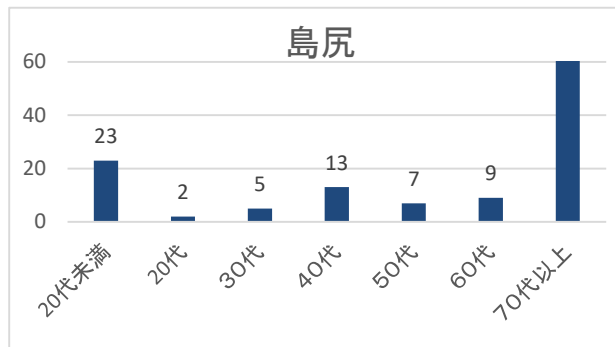
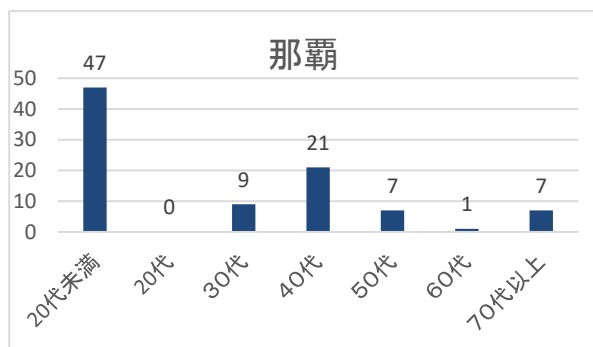
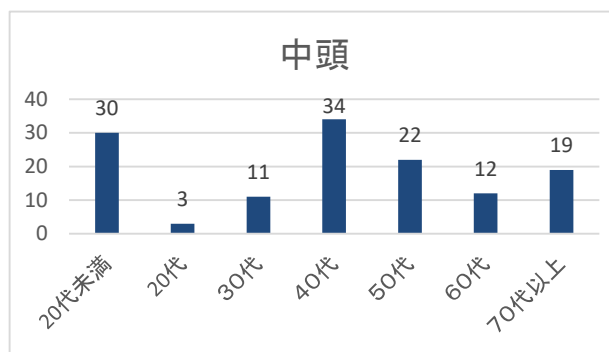
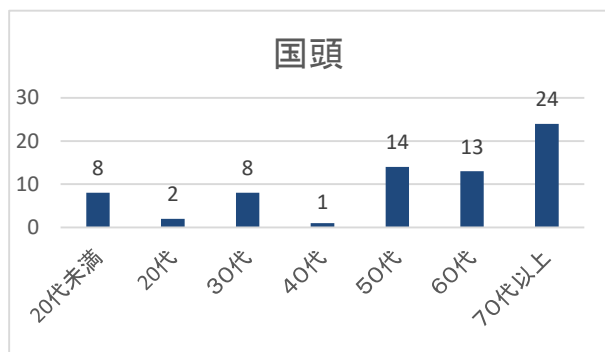
(1) 主催講座受講生の状況

① 主催講座受講者数と年代別分布

令和5年度	美ら島沖縄学講座	広域学習サービス講座							学校開放講座	合計
	センター	計	国頭	中頭	那覇	島尻	宮古	八重山		
20代未満	1	135	8	30	47	23	27	-	8	144
20代	2	11	2	3	-	2	4	-	-	13
30代	5	44	8	11	9	5	4	7	-	49
40代	20	97	1	34	21	13	17	11	5	122
50代	49	77	14	22	7	7	11	16	5	131
60代	120	90	13	12	1	9	10	45	7	217
70代以上	370	148	24	19	7	79	5	14	4	522
その他・不明	84	-	-	-	-	-	-	-	-	84
計	651	602	70	131	92	138	78	93	29	1,282



広域学習サービス講座 年代別受講者数 (教育事務所別)



② 学校開放講座市町村別受講者数

※ (年代は全て小中学生)

高校名	北部農林 ①	北部農林 ②	陽明	合計
名護市	9	8		17
本部町	1	1		2
那覇市			10	10
合計	10	9	10	29

いろいろな講座で
学ぶことが
できるんだね!



③ 主催講座受講者数(市町村別)

令和元年度	美ら島沖縄学講座	広域学習サービス講座							学校開放講座	合計
	センター	計	国頭	中頭	那覇	島尻	宮古	八重山		
国頭村	-	2	-	-	2	-	-	-	-	2
大宜味村	-	3	3	-	-	-	-	-	-	3
東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
今帰仁村	-	12	12	-	-	-	-	-	-	12
本部町	13	2	-	2	-	-	-	-	2	17
名護市	16	44	44	-	-	-	-	-	17	77
宜野座村	2	8	8	-	-	-	-	-	-	10
金武町	-	4	-	-	4	-	-	-	-	4
伊江村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊平屋村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伊是名村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
恩納村	-	10	-	10	-	-	-	-	-	10
うるま市	11	35	-	35	-	-	-	-	-	46
読谷村	3	4	-	4	-	-	-	-	-	7
嘉手納町	1	13	-	10	3	-	-	-	-	14
沖縄市	20	37	-	31	6	-	-	-	-	57
北谷町	1	11	-	11	-	-	-	-	-	12
宜野湾市	27	26	2	11	13	-	-	-	-	53
北中城村	19	-	-	-	-	-	-	-	-	19
中城村	1	2	1	1	-	-	-	-	-	3
西原町	19	2	-	-	-	2	-	-	-	21
浦添市	72	28	-	3	25	-	-	-	-	100
那覇市	310	58	-	7	29	22	-	-	10	378
久米島町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南大東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北大東村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
豊見城市	13	8	-	3	2	3	-	-	-	21
糸満市	9	22	-	-	-	22	-	-	-	31
八重瀬町	6	18	-	-	6	12	-	-	-	24
南城市	12	33	-	-	-	33	-	-	-	45
与那原町	1	28	-	1	-	27	-	-	-	29
南風原町	10	21	-	2	2	17	-	-	-	31
渡嘉敷村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
座間味村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
粟国村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
渡名喜村	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮古島市	21	78	-	-	-	-	78	-	-	99
多良間村	20	-	-	-	-	-	-	-	-	20
石垣市	18	93	-	-	-	-	-	93	-	111
竹富町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
与那国町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	26	-	-	-	-	-	-	-	-	26
計	651	602	70	131	92	138	78	93	29	1,282

(2) 講座を受けた動機

① 美ら島沖縄学講座

第1回講座【組踊への誘い】

- ・ 組踊を学びたい・興味がある
- ・ 友人・知人に誘われて
- ・ 沖縄の歴史・文化を知りたい
- ・ かりゆし長寿大学で県民カレッジの紹介を受けたから
- ・ 後学のため

第2回講座【おもろさうしの世界(ライブ配信)】

- ・ おもろさうしに興味・関心がある
- ・ 沖縄の歴史・文化を知りたい
- ・ 古文に興味がある
- ・ 専門家のお話を聞きたい
- ・ 後学のため

第3回講座【琉球国時代の病いと社会】

- ・ 琉球王国時代の歴史を知りたい
- ・ 豊見山先生の講座を受けたい
- ・ テーマに興味を持った
- ・ 後学のため
- ・ 奨励賞獲得したい

第4回講座【しまくとぅばを未来へ(ライブ配信)】

- ・ しまくとぅばに興味関心があった
- ・ しまくとぅば(沖縄の歴史)をどう継承していくのか知りたい
- ・ 沖縄の歴史に興味関心があった
- ・ 地域文化の理解のため
- ・ 後学のため

第5回講座【古文書の読み方(ライブ配信)】

- ・ 古文書に興味関心があった
- ・ 古文書が読めるようになりたい
- ・ 沖縄の歴史に興味関心があった
- ・ 講師に興味があった
- ・ 後学のため

第6回講座【泡盛の魅力・香りを探る～上級編～】

- ・ 泡盛に興味があった
- ・ 古酒、酒に興味があった
- ・ 沖縄の歴史に興味関心があった
- ・ 講師に興味があった
- ・ 後学のため

第7回講座【沖縄観光の現状と今後について(ライブ配信)】

- ・ 観光に興味関心があった
- ・ 観光の今後(コロナ打撃を受けた後に)興味関心があった
- ・ 観光の実態(業界、行政の取り組み)を知りたい
- ・ 沖縄について知りたい
- ・ 単位取得のため

第8回講座【琉球紅型の魅力を世界へ発信(ライブ配信)】

- ・琉球紅型に興味関心があった
- ・沖縄の伝統工芸作品に興味があった
- ・沖縄の歴史、文化、芸能に興味があった
- ・紅型関係の仕事をしているため
- ・後学、単位取得のため

第9回講座【沖縄の古文書を知る(ライブ配信)】

- ・古文書に興味関心があった
- ・古文書の勉強方法、探し方に興味関心があった
- ・知識向上、後学のため
- ・単位取得(奨励賞受賞を目標としている)ため
- ・琉球史に興味関心があった

第10回講座【沖縄の湧き水巡り～本島中部編～】

- ・湧き水に興味関心があった
- ・友人・知人に誘われて
- ・後学のため(地域歴史文化)
- ・沖縄の自然環境に興味関心があった
- ・集落に興味関心があった

第11回講座【トートーメーの歴史～タブーはなぜ生まれた～】

- ・トートーメーの歴史について興味がある
- ・伝統文化の継承
- ・沖縄の民俗文化に興味がある
- ・琉球の歴史に興味がある
- ・自分の人生に生かす

②広域学習サービス講座

国頭教育事務所【やんばるの地で学ぶ！ひろがる！豊かな暮らし！】

- ・琉球歌に関心を持ち、詠めるようになりたいと思った時期だったから
- ・琉球料理に興味・関心があったため
- ・子どもとしっかり遊ぶ時間、触れ合う時間を作りたいと思ったから
- ・仲間と楽しく過ごし、元気な体でいたいと思ったから

中頭教育事務所【「Be yourself でつながる学びの輪」】

- ・シアタードーナツに行ってみたかった
- ・スマホを持っているが使いこなせていないため
- ・プログラミングに興味があった
- ・性同一性障害について相談されることがある
- ・ウチナーグチに興味がある
- ・お笑い好きで興味があった

那覇教育事務所【沖縄の文化・自然を楽しもう】

- ・家族で沢登りを楽しむため。
- ・野外に出るきっかけがなかなかないので。
- ・SUP&カヌーを体験したかった。
- ・子ども達の体験させたかった。

島尻教育事務所【「島尻はひとつ」魅力ある地域の再発見】

- ・ 講座の内容に興味・関心があった
- ・ 与那原町について詳しく知りたいと思った
- ・ 島尻のことをもっと知りたいから
- ・ 継続して受講しているので、毎年楽しみにしている
- ・ 友人に勧められて興味を持った
- ・ 歴史に関心があった
- ・ 料理をしてみたいと思った

宮古教育事務所【みんなにとって住み続けられる街づくりをめざして】

- ・ SDGsに興味があったから
- ・ 前から興味があり、点字について知りたかったから
- ・ ロボットを自分で動かしたかった
- ・ 小さな島に凄い歴史があったことを初めて知りました。これからも知る機会を作っていきたいと思う。

八重山教育事務所【八重山の「自然・文化」に学ぶ】

- ・ 身近に自生する植物を活用した染物体験に興味があり勉強したかったから
- ・ ハーブローションに興味があり、自分で作りたいと思ったから
- ・ 凧作りに興味があり作ってみたかったから
- ・ 八重山の伝統凧(八角)作りの基本(ノウハウ)を学びたかったから
- ・ 孫と一緒に凧あげをやりたいかったから
- ・ 八重山の星座に興味関心があったから

③学校開放講座

北部農林高等学校【コーヒーガラスを活用した消臭除湿剤作り体験】

- ・ SDGsや再利用、リサイクルに興味があるから。
- ・ いつも飲んでいるコーヒーが利用できるのも。
- ・ コーヒーガラスにいつも関心があり試行錯誤していたので今回はラッキーです。
- ・ 新しいことを知りたいから。
- ・ コーヒーに興味があるから。

北部農林高等学校【コーヒーガラス廃棄豆を活用したキャンドル作り体験】

- ・ おもしろい取り組みをするなど興味をもったから
- ・ 生徒が講師となってSDGsに関しての体験教室に興味があったので。
- ・ 手作りで作ることの素晴らしさ。
- ・ コーヒー活用とのことで。
- ・ 友人から聞いたから。

陽明高等学校【いろいろな四角形の紙で鶴を折ろう】

- ・ 友人に誘われたから
- ・ 面白そうだったから
- ・ 折り紙に興味があった
- ・ 今まで習った内容をいかして鶴を折りたいと思ったから
- ・ 折り紙にハマっていたから

(3) 今後学習したいこと

① 美ら島沖縄学講座

- ・ 琉球の歴史・文化
- ・ 琉球の芸能、民俗
- ・ 指笛、泡盛、食文化、しまくとぅば、風水、紅型、織物、フィールドワーク
- ・ 経済、漁業、産業、自然、食文化、海外貿易、ロゼッタストーン、フィールドワーク
- ・ 指笛の実践、模合、琉球グスク散策、琉球国時代の娯楽(ギャンブル)、恩納ナビー、吉屋チルー
- ・ 沖縄について(石垣の自然観察、薬草、琉球料理、平和学習)
- ・ 各地区で実施して欲しい(トートメー、琉球料理)
- ・ 外国人労働者の移住問題、子どもの貧困、自己肯定感の高め方
- ・ 古文書について(シリーズ化、離島の古文書)
- ・ おもろそうし、古典音楽の歌詞説明、歌碑めぐり
- ・ 文化財、伝統文化、家譜について、しまくとぅば
- ・ 離島の歴史と文化(八重山、宮古)
- ・ 琉球料理について
- ・ 平和学習について(沖縄戦の実相、戦争遺跡)
- ・ 伝統行事について(御嶽信仰、祝女、ユタ、トートメー)
- ・ 自然環境、食文化、農産業について(沖縄の特性を活かした植物の育て方、食べ方)
- ・ SDGSの取り組み
- ・ 沖縄の伝統芸能の歴史について(国指定の伝統工芸品、壺屋焼き、琉球舞踊、三線、織物等)
- ・ 琉球紅型、焼き物、ガラス細工等の体験学習
- ・ 琉球語、漢文、古文の訳について
- ・ 琉球の歴史文化(琉球処分、法制度や大和との違い)について
- ・ 歴代法案、南山の歴史、三山時代について
- ・ 他地域の湧き水巡り
- ・ その他沖縄のことについて(歴史、文化、環境、民族、芸能事)
- ・ トートメー(相続、家譜、個別相談、継ぎ方、墓じまい)
- ・ 基地問題と経済、教育、貧困、SDGsなど

② 広域学習サービス講座

国頭教育事務所【やんばるの地で学ぶ！ひろがる！豊かな暮らし！】

- ・ 歴史、文化について実際に見て歩くことなどをやりたい
- ・ 沖縄のこと、地域の文化や自然について学びたい
- ・ 親子でふれあい遊びに関係する講座
- ・ 北部の歴史について

中頭教育事務所【「Be yourself でつながる学びの輪」】

- ・ 沖縄や地域に関すること
- ・ 沖縄・琉球の歴史
- ・ IT・プログラミング関係
- ・ 障害、発達障害、グレーゾーンについて
- ・ ウチナーグチを継続して学びたい
- ・ 野外の体験、キャンプ、登山、ウォーキング

那覇教育事務所【沖縄の文化・自然を楽しもう】

- ・ 野外料理。
- ・ 子供と楽しめる体験的なものに参加したい。
- ・ 生物を観察しながら、自然体験。
- ・ 物作り体験。

島尻教育事務所【「島尻はひとつ」魅力ある地域の再発見】

- ・ 地域の歴史(沖縄の歴史)について深く学びたい
- ・ 地域の特色や文化を学びたい
- ・ フィールドワークをしながら学びたい
- ・ 食文化に触れる講座
- ・ 地域の歴史(沖縄の歴史)について深く学びたい

宮古教育事務所【みんなにとって住み続けられる街づくりをめざして】

- ・ SDGsの目標を達成するため現状について知りたい
- ・ 海の民の歴史
- ・ 宮古の自然災害について
- ・ 宮古の水について学びたい

八重山教育事務所【八重山の「自然・文化」に学ぶ】

- ・ 石垣島の動物や植物
- ・ 八重山に自生するハーブを活用した料理法も学びたい
- ・ 八重山の伝統的な手仕事、生活の知恵を学びたい
- ・ 八重山の民具に使用される植物等の栽培～民具に合わせた材料づくり～民具づくり
- ・ 八重山の文化財見学

③学校開放講座

北部農林高等学校【コーヒーガラスを活用した消臭除湿剤作り体験】

- ・ ケーキ、パン作り
- ・ 挿し木
- ・ 地域とつながることができる内容
- ・ 身近で継続できること
- ・ コーヒーに興味があるから。

北部農林高等学校【コーヒーガラス廃棄豆を活用したキャンドル作り体験】

- ・ コーヒー豆作り
- ・ 挿し木、接ぎ木講習
- ・ 絞り染め
- ・ お花の育て方、増やし方
- ・ 他の再利用方法

陽明高等学校【いろいろな四角形の紙で鶴を折ろう】

- ・ 他の図形でもできるかやってみよう
- ・ 数学関連
- ・ スマホの機能対応講座

4 おきなわ県民カレッジ機関別連携講座数

(令和5年度)

番号	講座実施団体	前期	後期	合計
国・県関係機関		215	12	227
1	国立劇場おきなわ	3	1	4
2	国立沖縄青少年交流の家	8	0	8
3	沖縄県立名護青少年の家	14	0	14
4	沖縄県立糸満青少年の家	6	0	6
5	沖縄県立石川青少年の家	2	0	2
6	沖縄県立玉城青少年の家	10	5	15
7	沖縄県立石垣青少年の家	3	0	3
8	沖縄県立宮古青少年の家	7	0	7
9	沖縄県立博物館・美術館	52	0	52
10	沖縄県立埋蔵文化財センター	6	4	10
11	沖縄県立図書館	1	1	2
12	沖縄県総合運動公園	36	0	36
13	沖縄県社会福祉協議会 沖縄県介護実習・普及センター	11	0	11
14	沖縄県社会福祉協議会 いきいき長寿センター	55	0	55
15	沖縄県平和祈念資料館	1	1	2

市町村関係機関		261	59	320
1	石垣市教育委員会いきいき学び課	11	0	11
2	糸満生涯学習支援センター	18	0	18
3	浦添市美術館	12	9	21
4	浦添市立図書館	3	0	3
5	浦添市てだこ学園大学院	80	0	80
6	沖縄市中央公民館	17	0	17
7	宜野湾市立博物館	6	10	16
8	宜野湾市中央公民館	9	0	9
9	ちやたんニライセンター生涯学習プラザ	21	10	31
10	那覇市立壺屋焼物博物館	2	2	4
11	那覇市教育委員会 生涯学習課	46	28	74
12	那覇市小禄老人福祉センター(かりゆしうるく)	36	0	36

高等教育機関等		144	13	157
1	琉球大学	120	0	120
2	沖縄県立看護大学	0	1	1
3	名城大学	7	3	10
4	沖縄国際大学	10	0	10
5	沖縄大学	7	9	16

各種関係機関等		794	354	1148
1	(一財)沖縄美ら島財団	5	0	5
2	県立博物館友の会	1	2	3
3	タイムスカルチャースクール	129	0	129
4	沖縄文化健康センター ペアーレ沖縄・タピック	72	68	140
5	ウエル・カルチャースクール	574	279	853
6	公益財団法人おきなわ女性財団	6	0	6
7	公益社団法人沖縄被害者支援ゆいセンター	1	0	1
8	古都首里探訪会	1	2	3
9	沖縄の歴史と文化を学ぶ会	1	1	2
10	豊見城歴史文化同好会	0	1	1
11	特定非営利活動法人うらおそい歴史ガイド友の会	4	0	4
12	首里大学(首里振興会)	0	1	1
合計		1414	438	1852

おきなわ県民カレッジ開設要綱

平成17年3月11日知事決裁

(目的)

第1条 県民の多様化・高度化する学習ニーズに対応するため、県内の生涯学習関連機関が実施している講座等を総合的に体系化し、県民に生涯学習の機会を効果的に提供するとともに、学んだことを評価・活用する「おきなわ県民カレッジ」(以下「県民カレッジ」という。)を開設する。

(運営主体)

第2条 運営主体は、沖縄県教育委員会とする。

(講座の種別)

第3条 県民カレッジは、次の講座を開設する。

- (1) 主催講座
- (2) 連携講座
- 2 主催講座は、沖縄県教育委員会が主催する講座で広域学習サービス講座、学校開放講座及び美ら島沖縄学講座とする。
 - (1) 広域学習サービス講座は、各教育事務所単位で実施するものとする。
 - (2) 学校開放講座は高等学校(県立盲、ろう、特別支援学校の高等部を含む)、専修学校及び各種学校の施設、設備、人材を活用して実施するものとする。
 - (3) 美ら島沖縄学講座は沖縄県教育庁生涯学習振興課が企画する講座、講演、シンポジウム等とする。
- 3 連携講座は、国、県、市町村、高等教育機関、各種関係機関等が実施し、沖縄県教育委員会が認めるものとする。
- 4 講座の実施に関し、必要な事項は別に定める。

(受講資格)

第4条 受講者は主として沖縄県内に居住する者とする。ただし、連携講座については第3条第3項の規定する機関が定める。

(学長等)

第5条 県民カレッジに学長及び副学長を置く。

- 2 学長は、知事をもって充てる。
- 3 副学長は、教育長をもって充てる。

(運営委員会)

第6条 県民カレッジの運営に関する重要な事項について、有識者の意見を聴取するため、運営委員会を置く。

- 2 運営委員会は10名以内をもって組織し、委員は学長が選任する。
- 3 運営委員会に関し、必要な事項は別に定める。

(事務局)

第7条 県民カレッジの事務を処理するために事務局を沖縄県教育庁生涯学習振興課に置く。

- 2 事務局長は、沖縄県教育庁生涯学習振興課課長をもって充てる。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、県民カレッジの運営に関し必要な事項は別に定める。

(附則)

この要綱は、平成17年4月1日から施行する。

この要綱は、平成19年5月14日から施行する。

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

おきなわ県民カレッジ主催講座実施要項

平成17年 4月28日
教育長 決 裁

(目的)

第1条 おきなわ県民カレッジ開設要綱第3条第4項の規定に基づき、おきなわ県民カレッジ主催講座（以下「主催講座」という。）の実施に関し必要な事項を定める。

(実施機関)

第2条 主催講座の実施機関は、次のとおりとする。

- (1) 美ら島沖縄学講座は、おきなわ県民カレッジ事務局（沖縄県教育庁生涯学習振興課。以下「事務局」という。）が実施する。
- (2) 広域学習サービス講座は、各教育事務所が実施する。
- (3) 学校開放講座は、県立学校（県立盲、ろう、特別支援学校の高等部を含む）、専修学校及び各種学校が実施する。

(実施計画書等の提出)

第3条 実施を希望する機関は、おきなわ県民カレッジ主催講座実施計画書（様式1）とおきなわ県民カレッジ主催講座事業費見積書（様式2）を事務局に提出するものとする。

(実施機関の決定)

第4条 おきなわ県民カレッジ学長（沖縄県知事。以下「学長」という。）は、前条の実施計画書等の内容等を審査し、実施機関を決定する。

2 前項により、学長は決定の通知を行うとともに、必要に応じて委託業務契約を締結する。

(受講者)

第5条 受講者は、主として県内に居住する者とする。

(受講者の募集及び決定)

第6条 受講者の募集及び決定は、実施機関の長が行う。

(修了証の授与)

第7条 総時間の7割以上の出席者に修了証を授与することができる。

(講師)

第8条 講師は、学長が委嘱する。

2 学校開放講座の講師は、原則として実施機関である学校の教職員とする。ただし、学習の内容により外部講師を依頼することができる。

(経費の負担)

第9条 事業に必要な経費は、事務局が負担する。ただし、受講者に直接還元される教材費等は、受講者の負担とする。

- (1) 事務局は、教育事務所及び県立学校に対して、予算の範囲内で講座実施に必要な経費を令達するものとする。
- (2) 学長は私立高等学校、専修学校及び各種学校に対して、おきなわ県民カレッジ主催講座委託業務契約書に基づき必要な経費を支出するものとする。

(事業報告書)

第10条 実施機関は、おきなわ県民カレッジ主催講座事業実績報告書（様式3）、おきなわ県民カレッジ主催講座集計表（様式4）及びおきなわ県民カレッジ主催講座事業精算書（様式5）を講

座終了後30日以内に作成し、学長に提出しなければならない。

(受講者の責任)

第11条 講座の受講者は、受講に際し、実施機関の施設又は設備に損害を生じさせた場合には、その損害を賠償するものとする。ただし、学長がやむを得ない理由があると認めた場合は、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(実施上の事務)

第12条 この講座の実施に関する事務は、事務局が処理する。

(補則)

第13条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

- 1 この要項は、平成17年4月28日から施行する。
- 2 沖縄県広域学習サービス体制整備事業実施要綱（平成14年3月27日教育長決裁）、沖縄県広域学習サービス事業開設要項（平成10年7月30日教育長決裁）及び沖縄県学校開放講座実施要綱（平成6年6月1日教育長決裁）は、廃止する。
- 3 この要項は、平成20年4月1日から施行する。
- 4 この要項は、平成24年4月13日から施行する。

おきなわ県民カレッジ連携講座実施要項

平成17年4月28日
教育長決裁

(目的)

第1条 おきなわ県民カレッジ開設要綱第3条第4項の規定に基づき、おきなわ県民カレッジ連携講座(以下「連携講座」という。)の実施に関し、必要な事項を定める。

(実施機関)

第2条 連携講座を主催する機関は、国、県、市町村、高等教育機関、各種関係団体等の機関とする。

(講座)

第3条 連携講座は、県民に対して開かれた生涯学習に関する講座とする。次の各号に該当する講座は、連携講座として承認しないものとする。

- (1) 県及び主催団体職員のみを対象とした職務上の講習会や研修会
- (2) 特定の宗教や政治思想の普及を目的とした講習会や研修会
- (3) その他沖縄県教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が、不相当と認めたもの

2 連携講座の主催者は、連携講座の表示をするものとする。

3 講座は、おきなわ県民カレッジ運営要項第9条第1項第2号に定める講座体系に分類するものとする。

(申請等)

第4条 連携講座の主催者は、おきなわ県民カレッジ連携講座申請書(様式1)により教育長に申請する。

2 教育長は、前項の申請書に基づき審査を行い、相当と認められるものについては承認し、おきなわ県民カレッジ連携講座承認書(様式2)により通知するものとする。

(受講者の募集及び決定)

第5条 受講者の募集及び決定は、各実施機関が行う。

(単位の認定)

第6条 連携講座の単位認定は、学長が行う。

(経費及び運営)

第7条 連携講座の開設及び運営に要する費用は、すべて各実施機関が負担するものとする。

2 この要項に定めるもののほか、講座の運営に関することは、各実施機関が行う。

(補則)

第8条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、別に定める。

附則

この要項は、平成17年4月28日から施行する。

附則

この要項は、平成22年9月2日から施行する。



国頭教育事務所(広域学習サービス講座)
「本格的な琉球料理を学ぼう！味わおう！」



島尻教育事務所(広域学習サービス講座)
「与那原綱曳」



中頭教育事務所(広域学習サービス講座)
「漫オワークショップ」



宮古教育事務所(広域学習サービス講座)
「親子でロボットプログラミング」



那覇教育事務所(広域学習サービス講座)
「沢登り」



八重山教育事務所(広域学習サービス講座)
「八重山の伝統凧を作ろう」

令和5年度 おきなわ県民カレッジ報告書 令和6年3月発行



発行

沖縄県教育庁 生涯学習振興課 生涯学習推進センター
〒900-0029 沖縄県那覇市旭町116-37 南部合同庁舎4階
TEL 098-864-0474 FAX 098-864-0476
<https://www.pref.okinawa.jp/edu/shogai/index.html>

